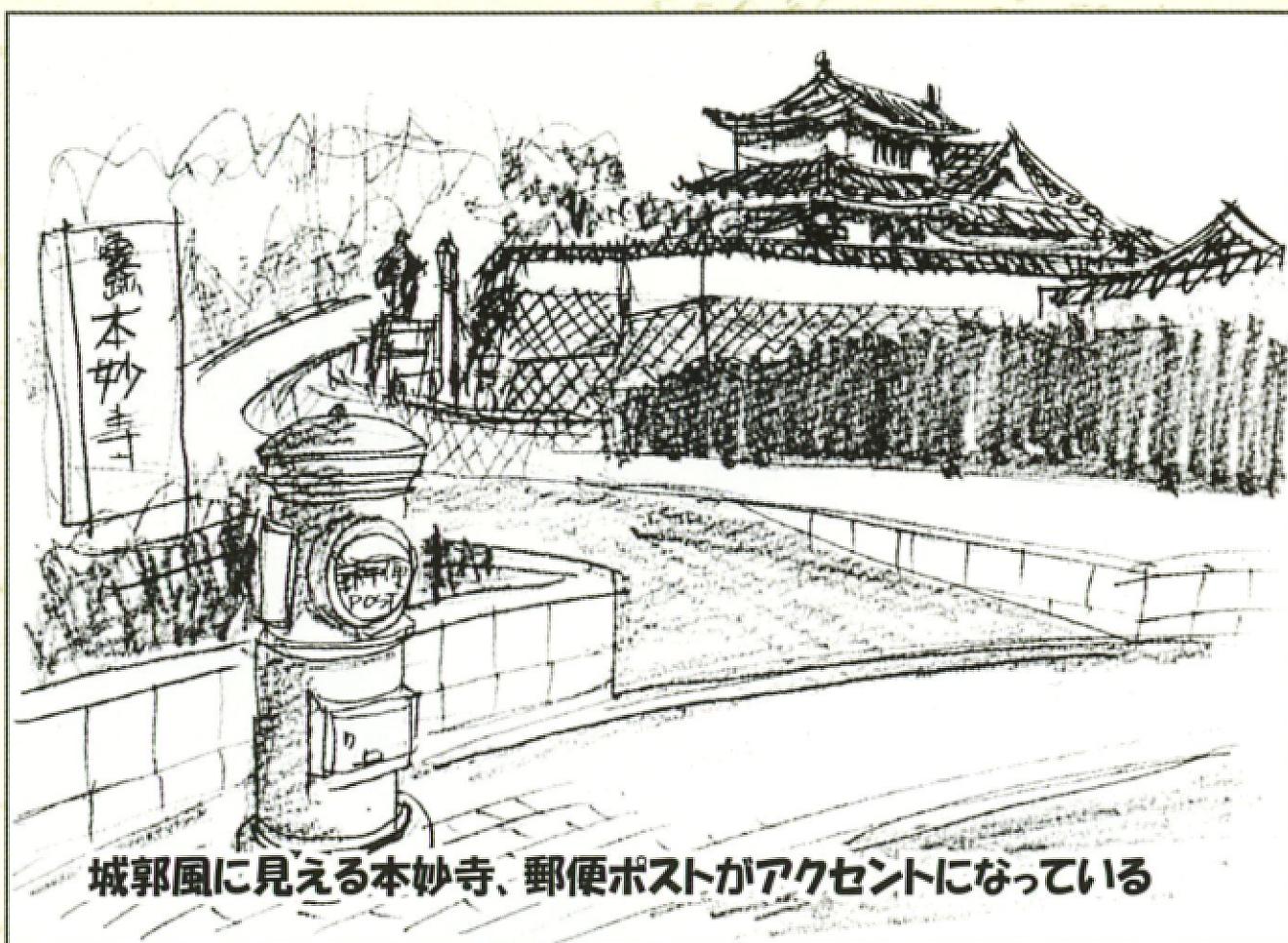


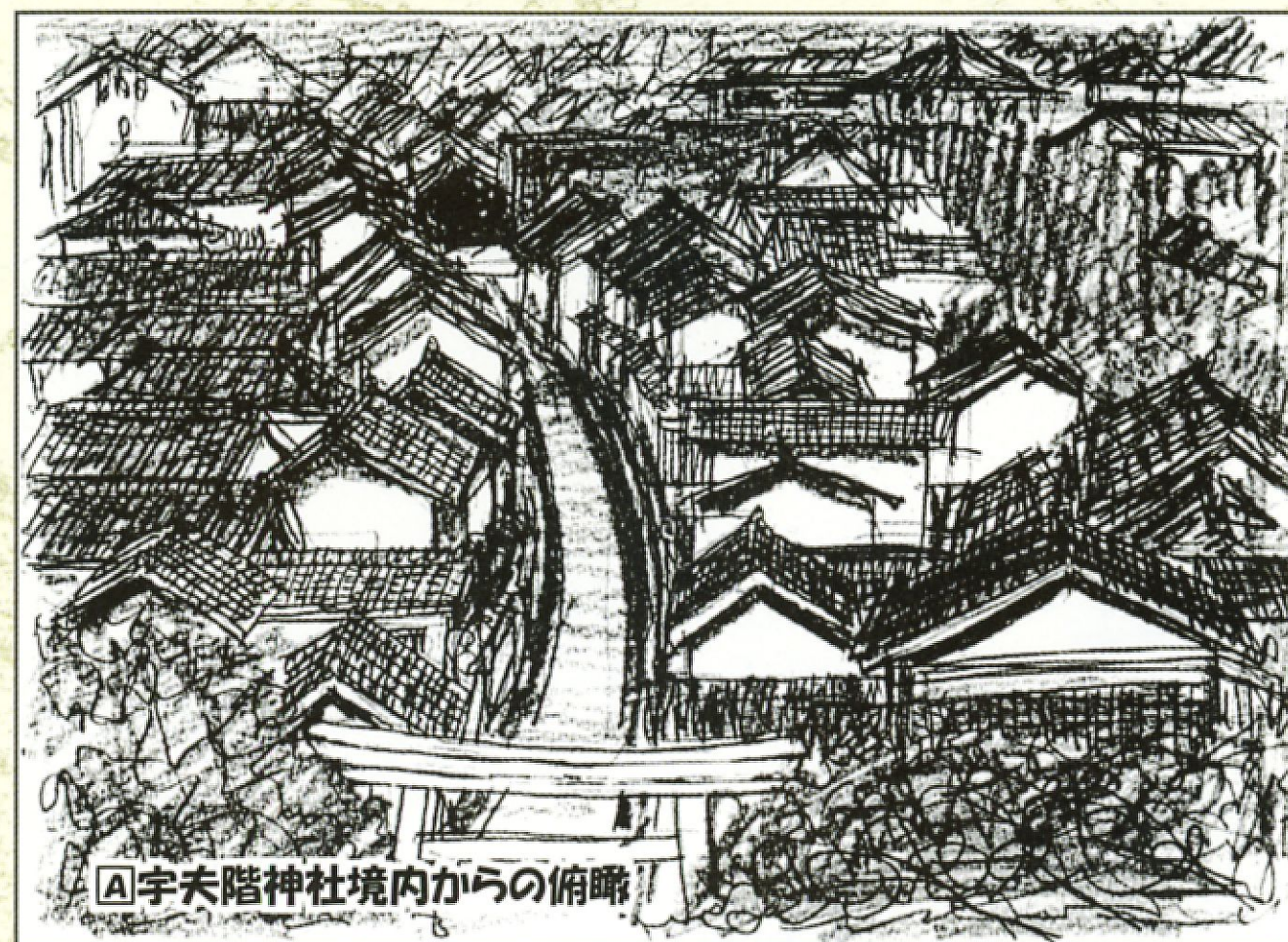
④宇夫階神社の鳥居がアイストップになる西町中の街並み



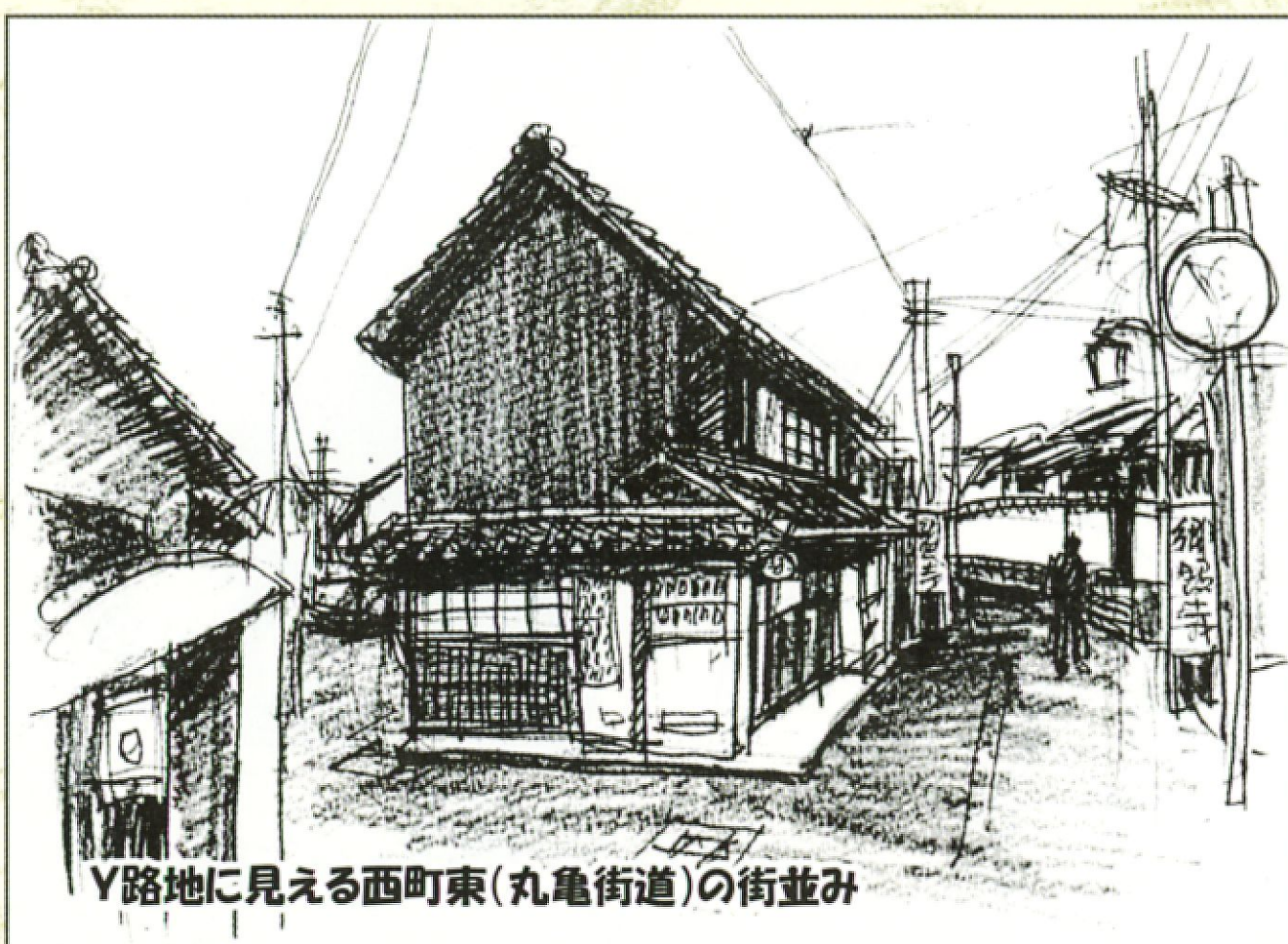
左右の「対比」が面白い横町(④宇夫階神社東側)の街路



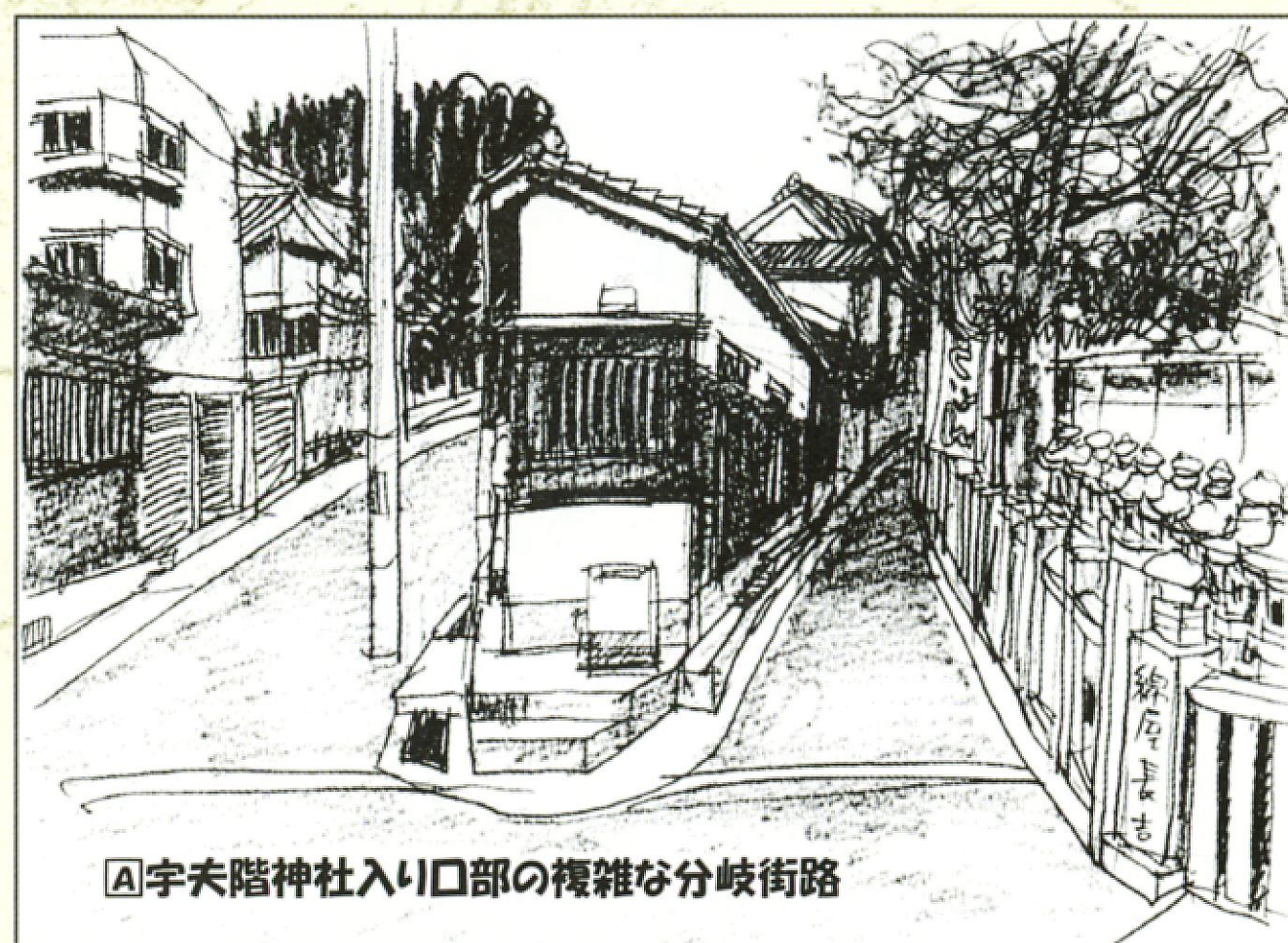
城郭風に見える本妙寺、郵便ポストがアクセントになっている



④宇夫階神社境内からの俯瞰



Y路地に見える西町東(丸亀街道)の街並み



④宇夫階神社入り口部の複雑な分岐街路

宇多津

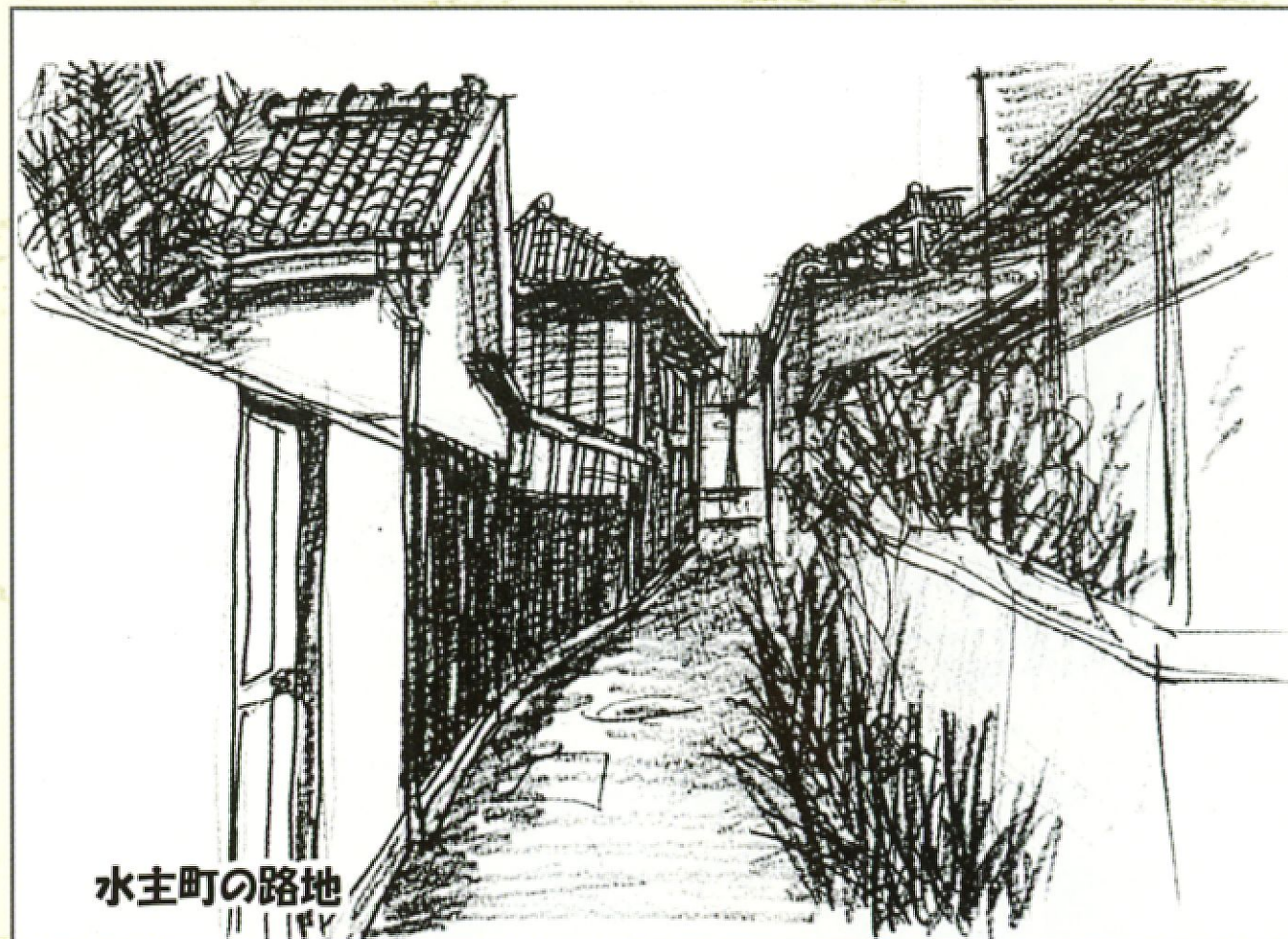
co-machi 街 絵地図



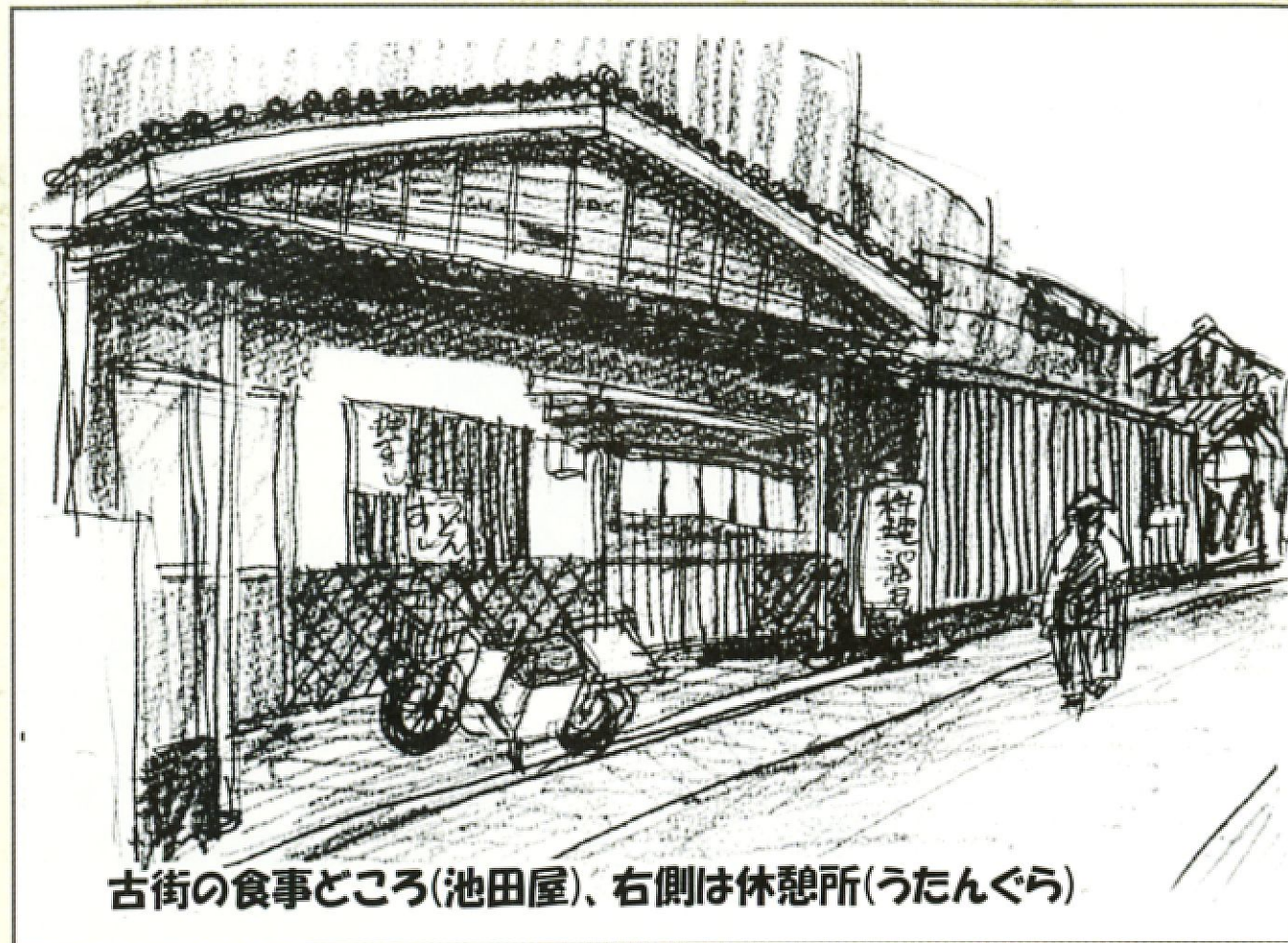
伊勢の宮神社境内

絵になる美しい街

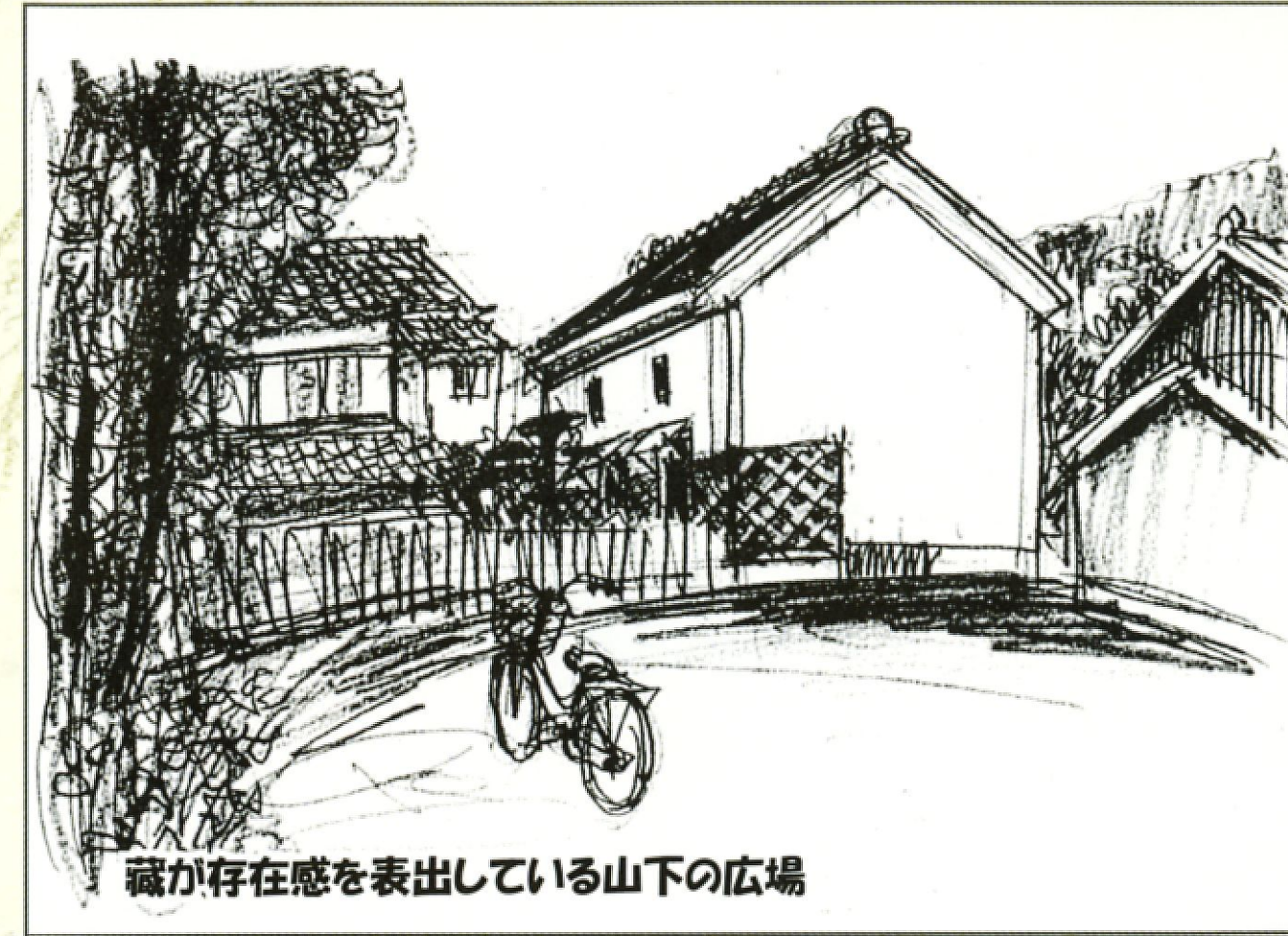
歴史上、13世紀から登場する宇多津は港町として繁栄したことから、由緒ある神社仏閣や町家、それに小社周りの広場、ヒューマンスケールの街路や路地、等々が今に引き継がれています。特に、聖通寺を含めた1社9ヶ寺、歴史的建造物といえる町家約100棟は、古街を特色付ける重要な景観形成要素であり、これらが絵になる美しい景観を醸成しています。



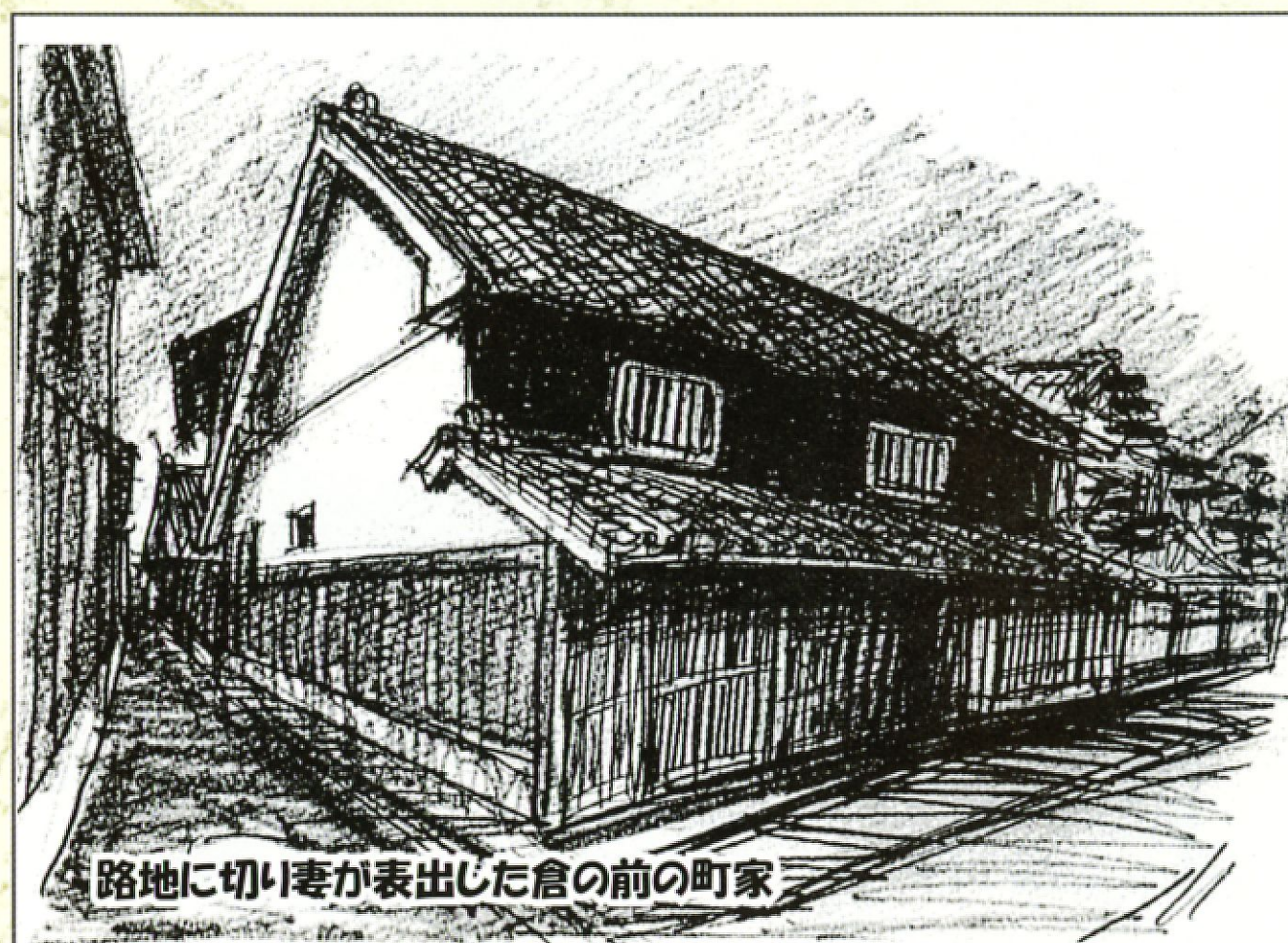
水主町の路地



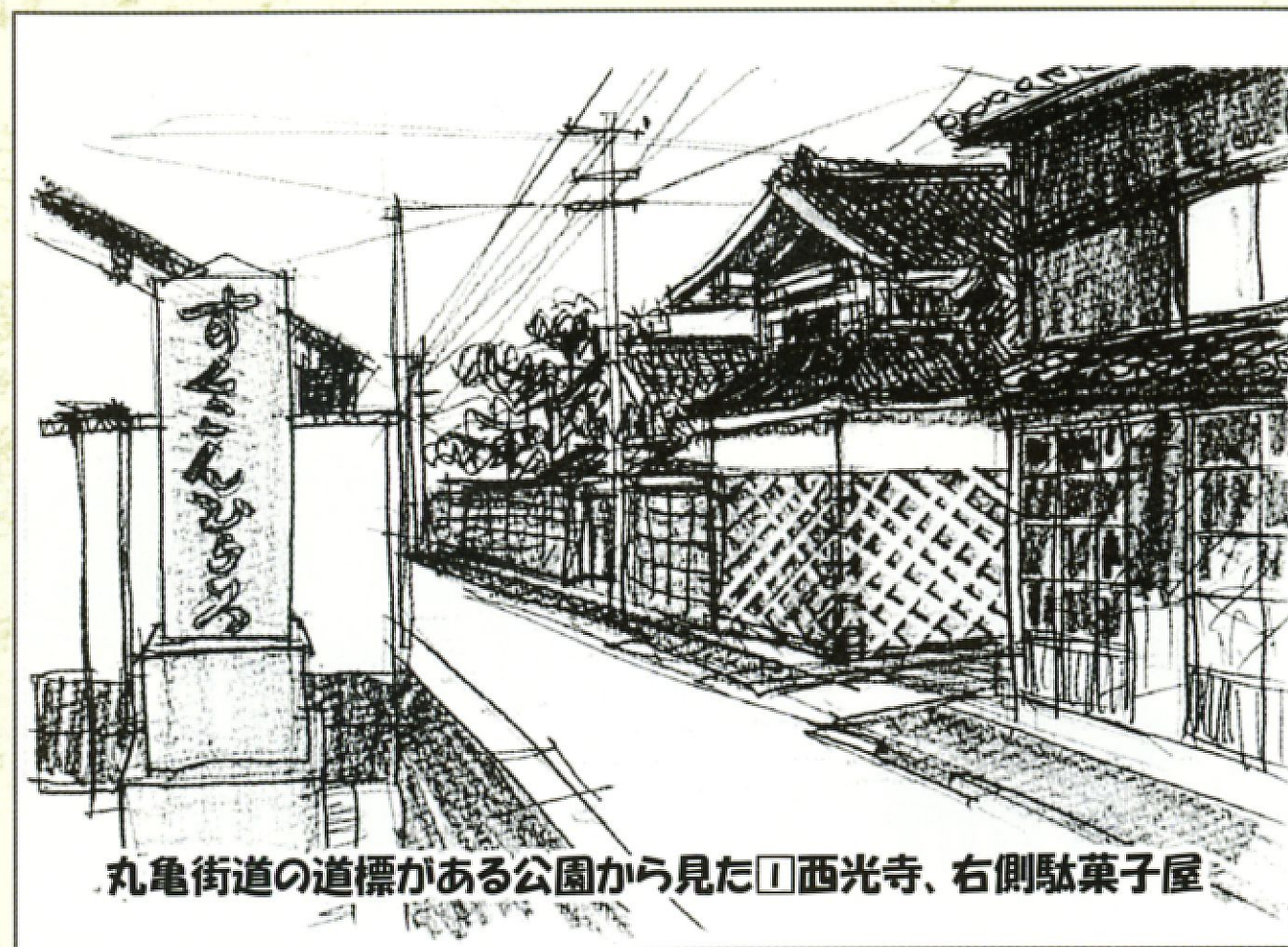
古街の食事ところ(池田屋)、右側は休憩所(うたんぐら)



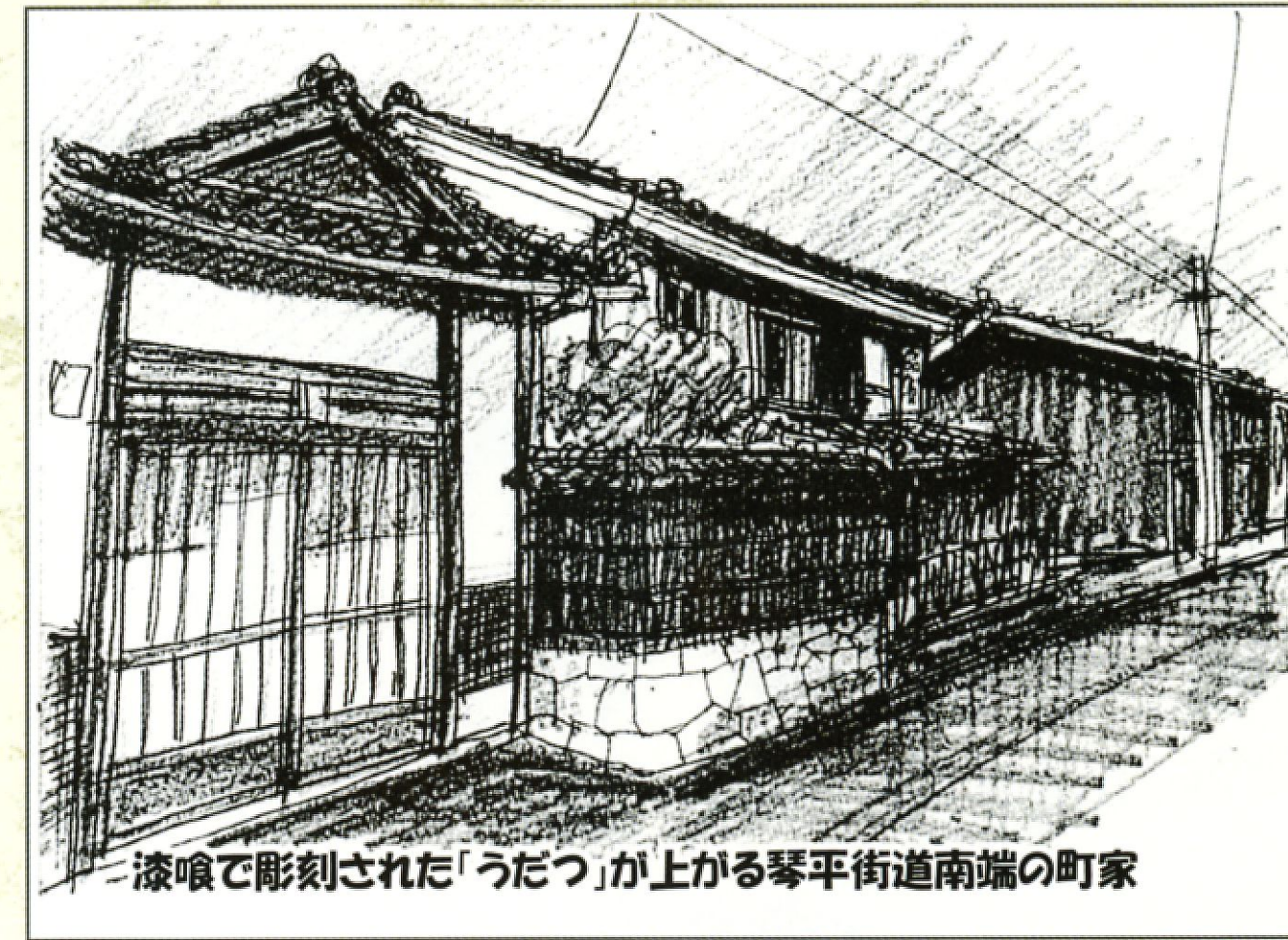
蔵が存在感を表出している山下の広場



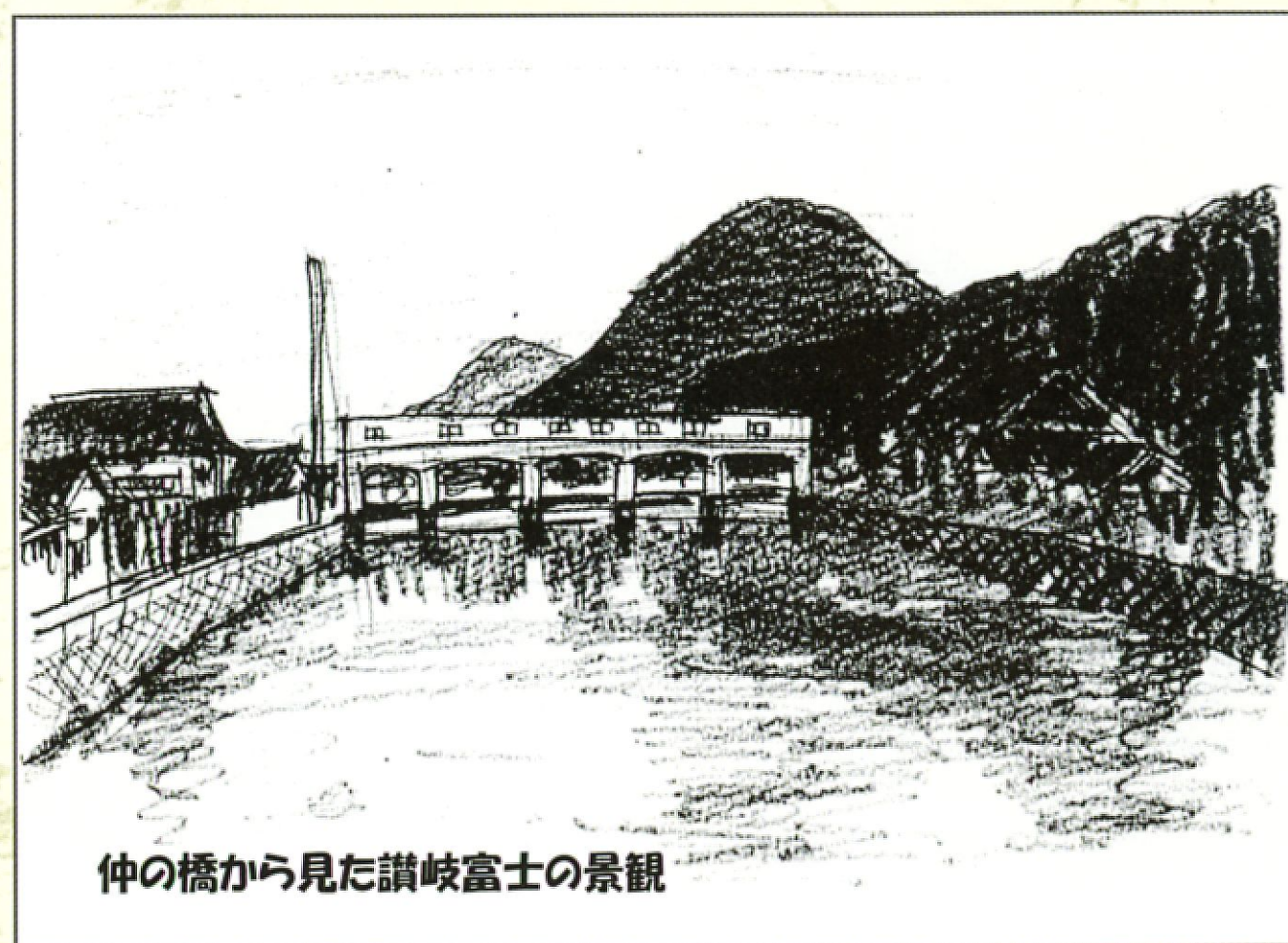
路地に切り妻が表出した倉の前の町家



丸亀街道の道標がある公園から見た西光寺、右側駄菓子屋



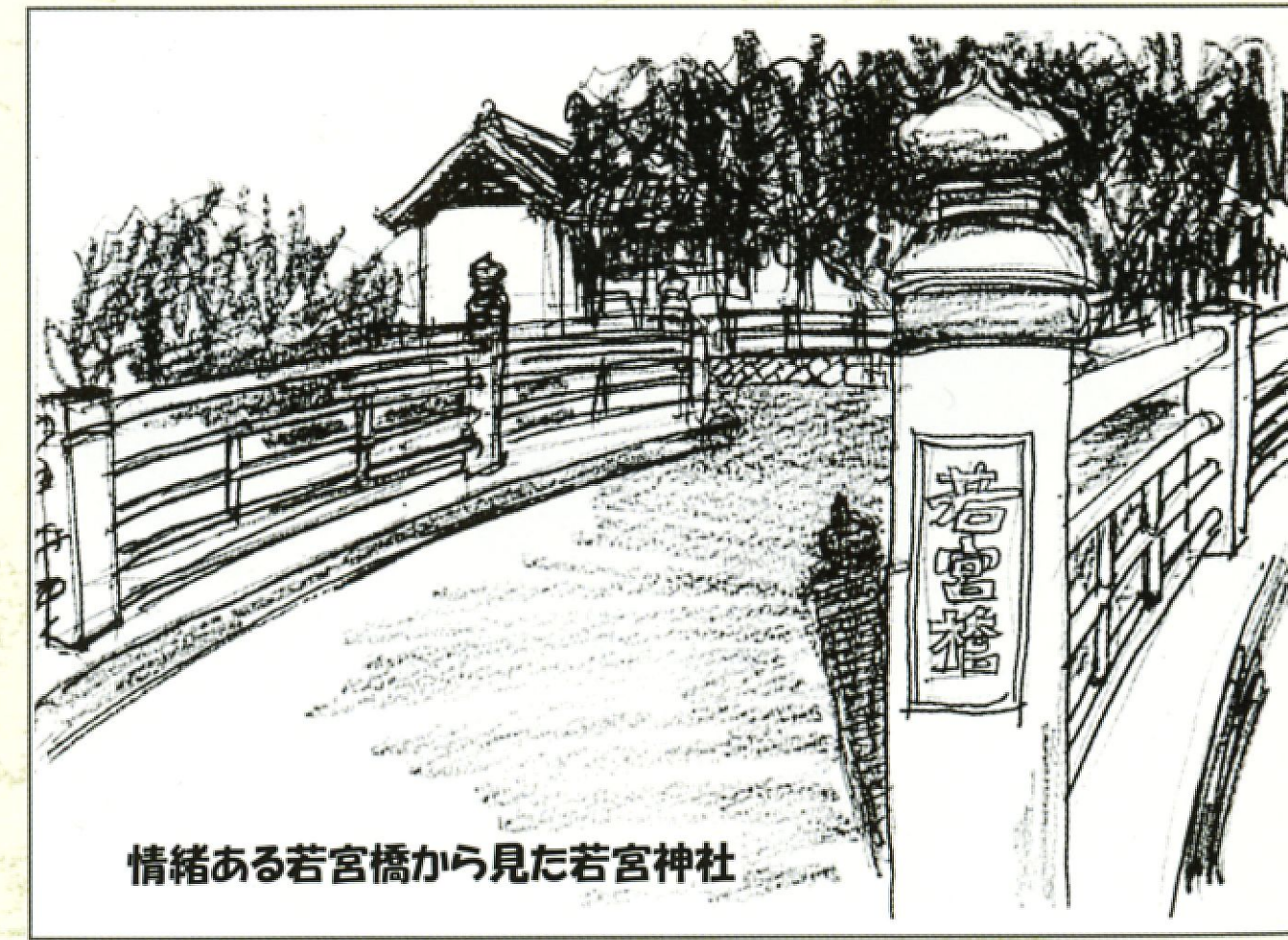
漆喰で彫刻された「うだつ」が上がる琴平街道南端の町家



仲の橋から見た讃岐富士の景観



なまこ壁と白壁が趣を醸し出す西光寺西側街路



情緒ある若宮橋から見た若宮神社

◇ 景 観 へ の 誘 い ◇

いざな

● 1 社 9 ケ 寺 及 び 小 社 周 辺

東の聖通寺山麓に位置するJ聖通寺や大東川の西側に位置するI西光寺、H円通寺、G多聞寺、F南隆寺、E聖徳院、D浄泉寺、C郷照寺、B本妙寺、A宇夫階神社、更には各町でお祀りしている数え切れないほどの小社、等々の神仏に関わる事物によって醸し出されるたたずまい。

● 街並み

①新町（丸亀街道の東端）：町家が密に建ち並ぶ商家町の街並み。特にくの字に「折れ曲がる」景観。

②新町の大東川東岸近辺：直角に折れ曲がる丸亀街道沿いの板塀のある江戸時代の町家が建ち並ぶ街並み。

③西光寺周辺：古街の貴重な景観資産である白壁の塀に囲まれた西光寺に因って醸成される景観。

④西光寺の南側浦町周辺：江戸時代の主家と塀で構成された㊦邸等のお屋敷的な風情。

⑤倉の前・水主町周辺：倉の館三角邸等、明治・大正期の町家が混在する街並み。

⑥丸亀街道の西側：小規模町家が建ち並ぶ商家的街並みや神社仏閣に付属する塀に沿った街路景観。

⑦琴平街道の南側：漆喰で彫刻した「うだつ」を上げた町家等が見られる街並み。

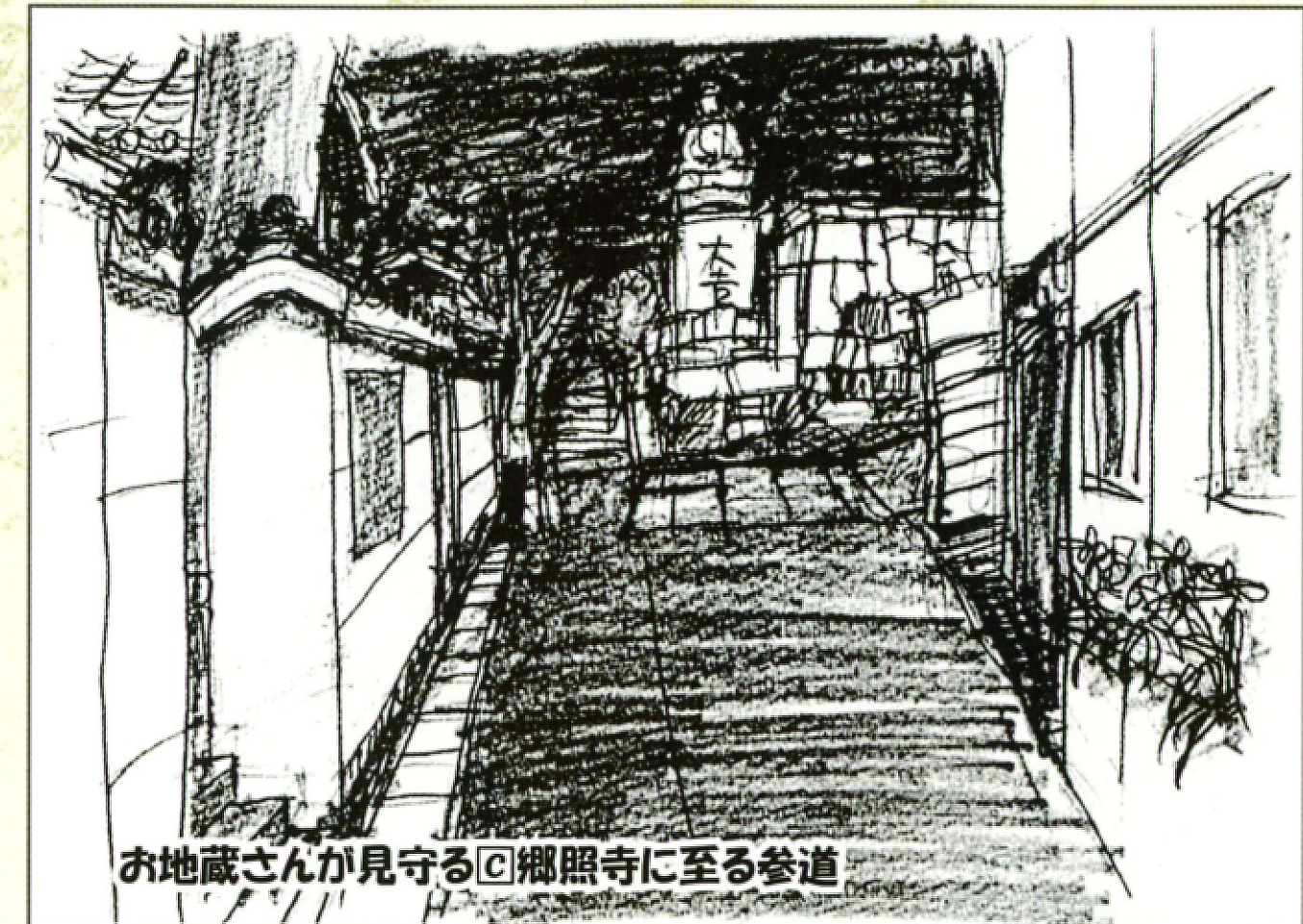
発 行 ： 宇多津町 平成22年3月

絵と文 ： 川村眞次

*禁・無断転載。 *実際と異なる場合があります。



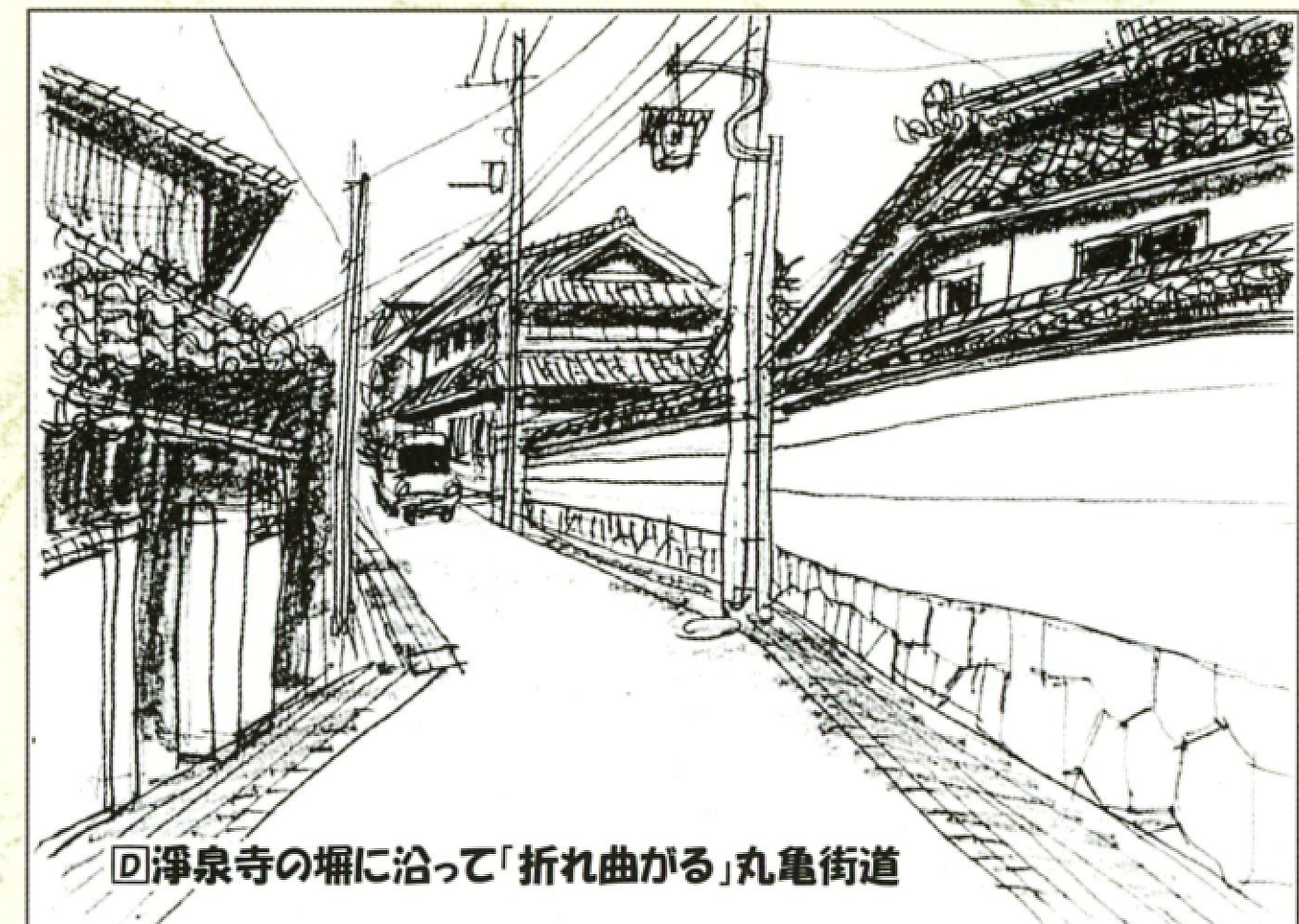
本町でお祀りしている神社の西側街路



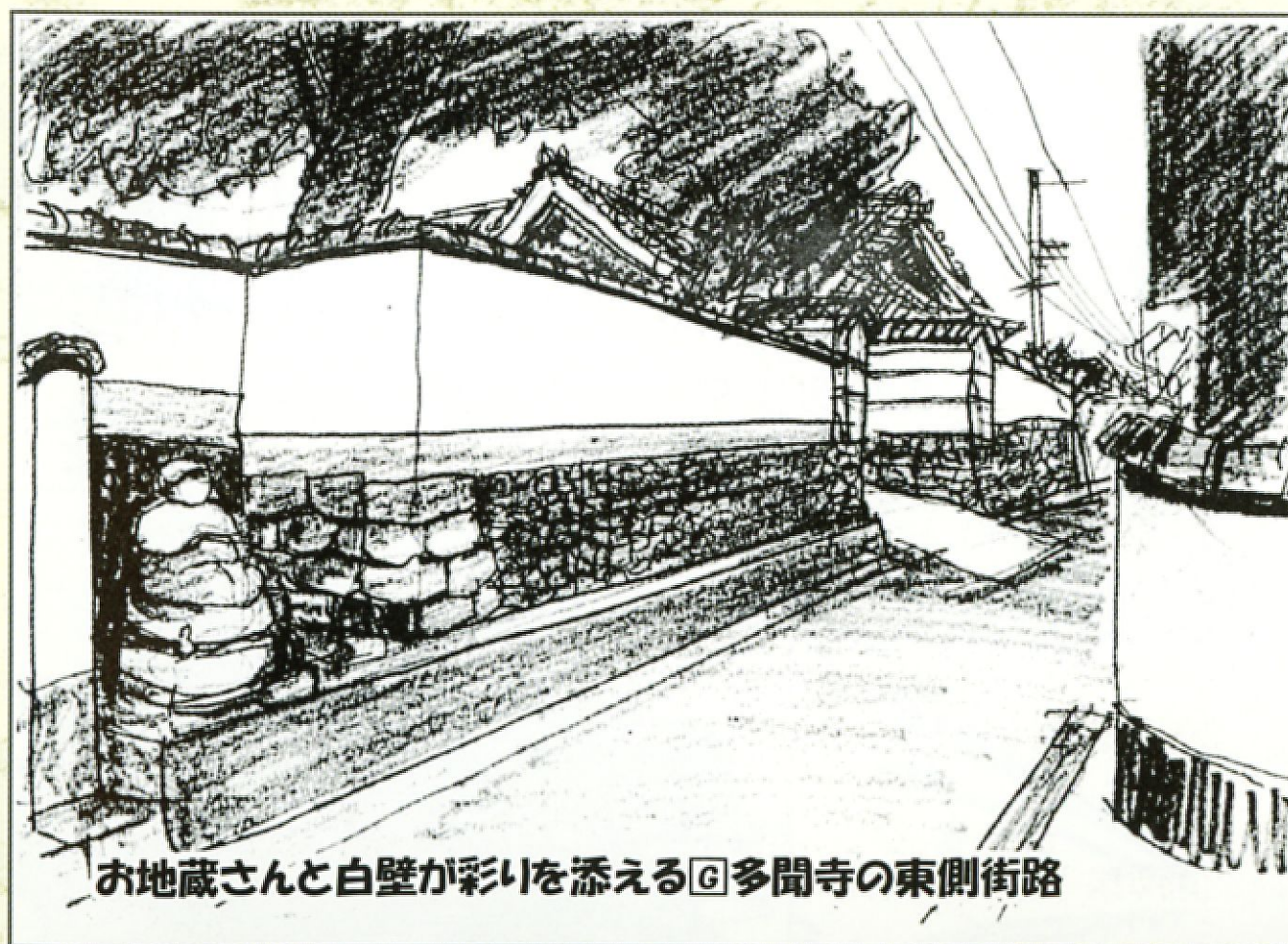
お地蔵さんが見守る㊦郷照寺に至る参道



なまこ壁と白壁が趣を醸し出す本町の街路



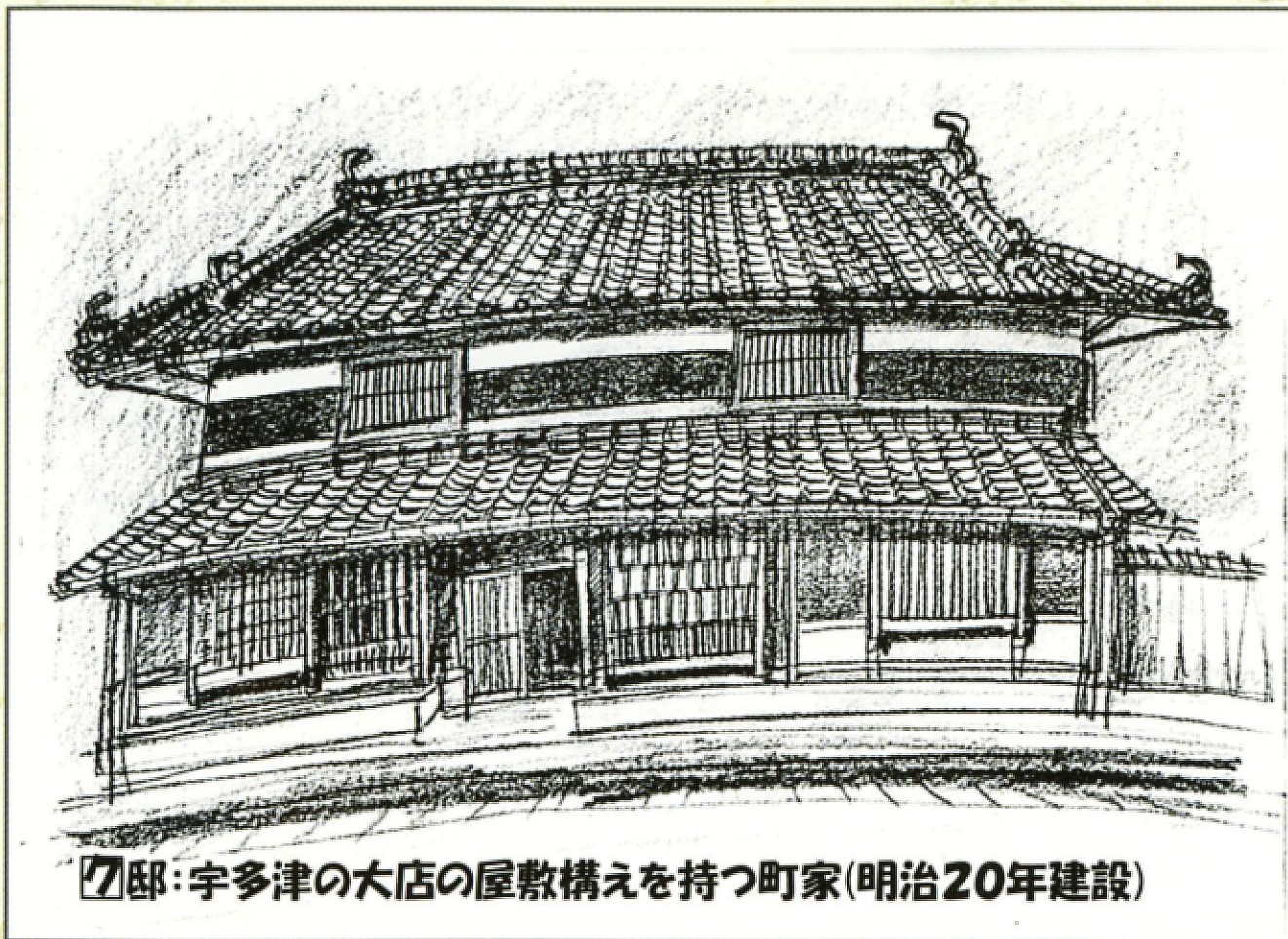
㊦浄泉寺の塀に沿って「折れ曲がる」丸亀街道



お地蔵さんと白壁が彩りを添える㊦多聞寺の東側街路



㊦浄泉寺東側の街路



⑦邸：宇多津の店の屋敷構えを持つ町家(明治20年建設)

◇宇多津の町家◇

宇多津の古街に引き継がれている町家は江戸時代末期から昭和初期のものです。その特色は京町家に見られるような隣家と軒を接して建ち並ぶ一般的な町家以外に、隣家との間に板塀等の塀を設けた町家が数多くあることです。

一般的な町家の屋根は切妻造ですが、宇多津では角地に面する建物や、敷地の間口が広く隣家との間に余裕がある場合に、入母屋造にした事例が多く見られます。

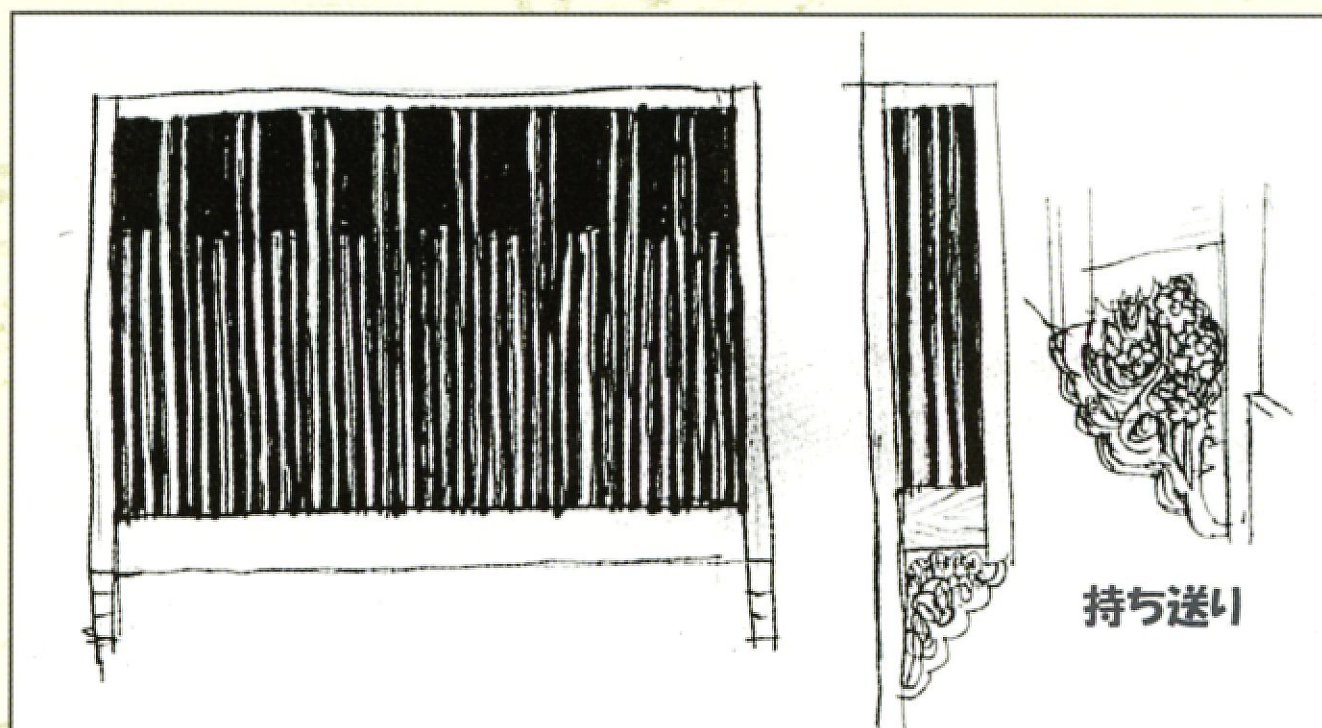
また、1階の外壁の殆どは柱を見せる真壁造に、腰の部分は板張りになっています。開口部はアルミサッシに変わっている場合もありますが、戸口には大戸を、居室部には掃き出しの出格子や腰高の出格子を設けるのが伝統的な設えて、興味深いのは出格子に取り付けられている持ち送りに様々な彫刻を施している事例が見られることです。更に、格子の部分をよく見れば、幅の広い格子を前後2重に設け、後ろの格子を移動することにより開閉する無双窓^{むそうまど}が残っている町家もあります。

2階の外壁は柱を覆ってしまう大壁造で、軒裏も塗り込め一切木部を見せない型式が多く、窓には虫籠窓が設けられ、古いものは建具の無い太い格子を設けた単純な形態に、明治以降は漆喰で凝った彫刻を施した形態になっています。

これらの町家は宇多津の歴史的な社会資産ですから、大事に継承したいものです。



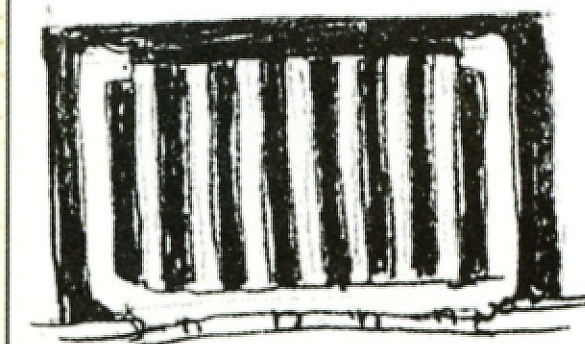
くの字に折れ曲がる丸亀街道東端



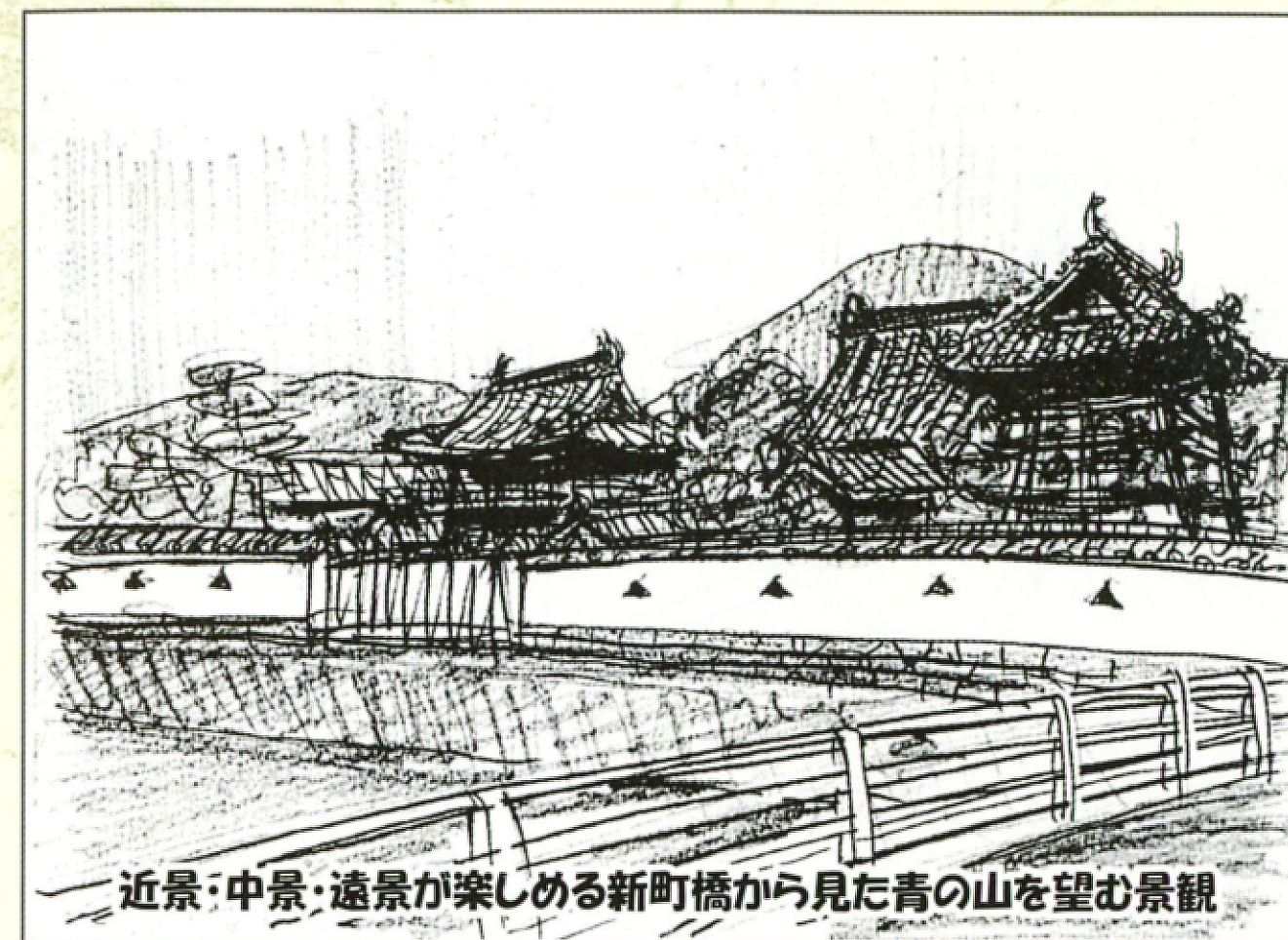
出格子：開口部には細密な彫刻を施した持ち送りのある出格子が取り付けられている場合が多い、それらのデザインは町家によっていろいろ



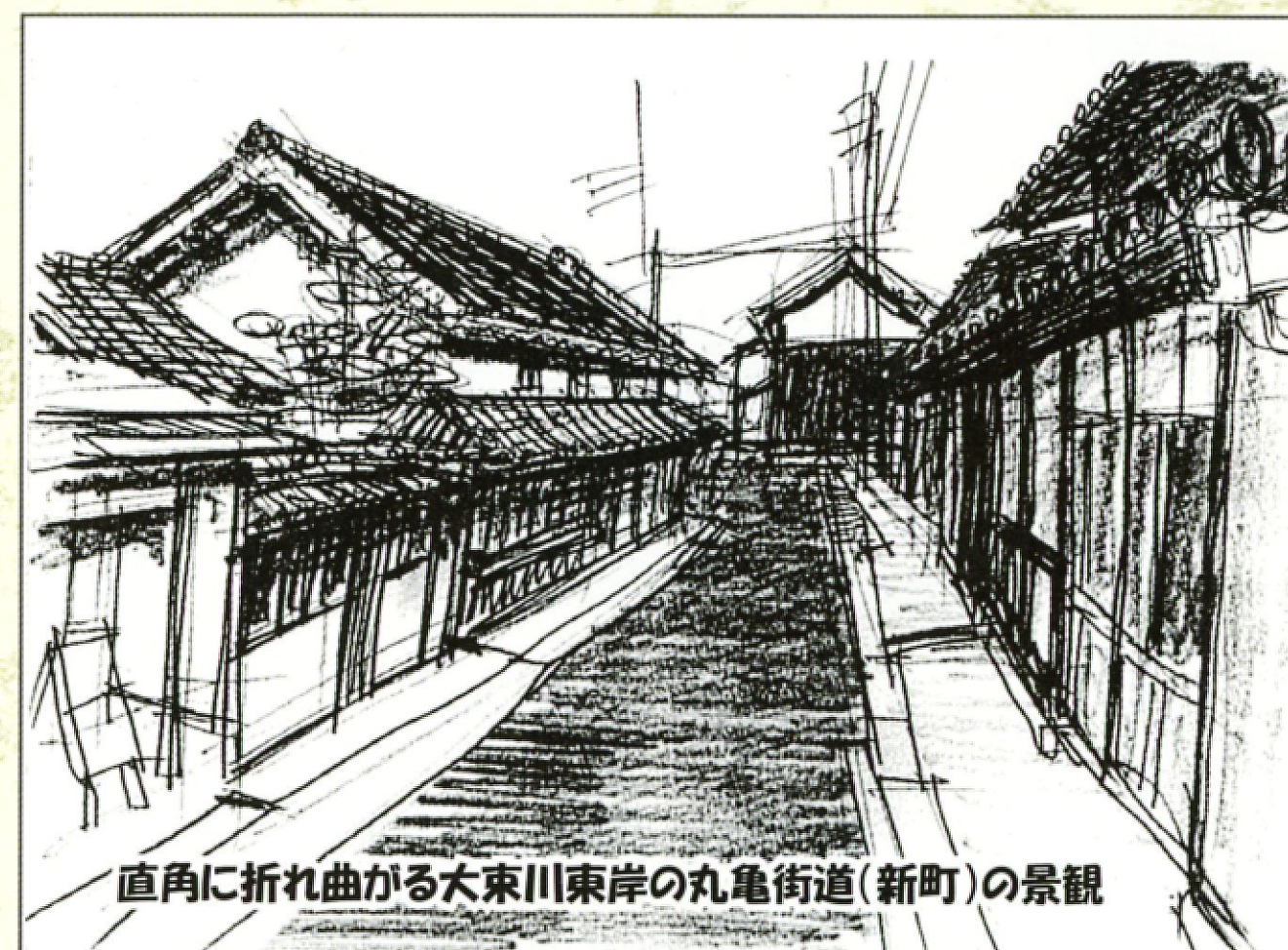
虫籠窓：町家の2階には種々の凝ったデザインの虫籠窓が設けられている。見比べるのも楽しみ



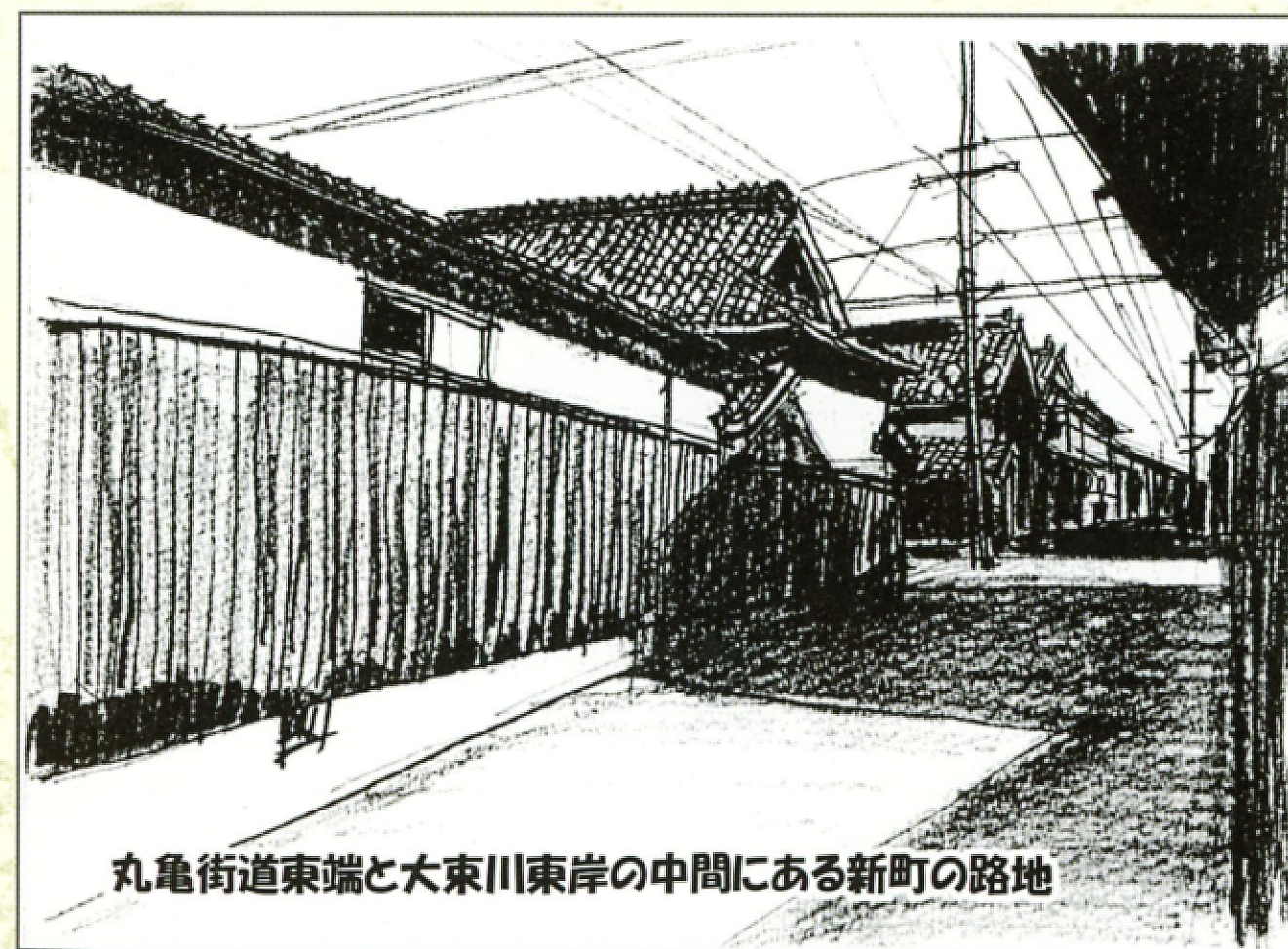
うだつ：宇多津の「うだつ」は希少。琴平街道南端で見られる町家の「うだつ」は漆喰で彫刻され、見応え十分



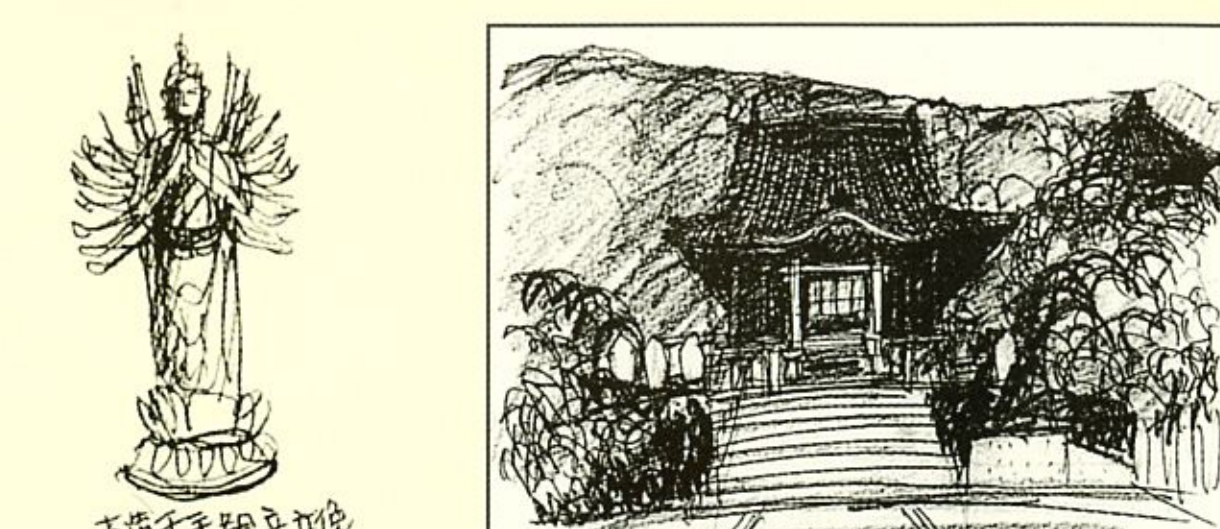
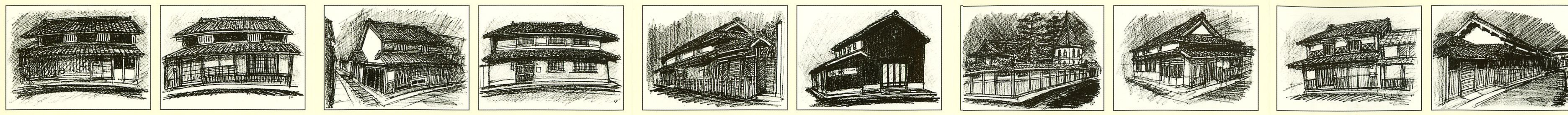
近景・中景・遠景が楽しめる新町橋から見た青の山を望む景観



直角に折れ曲がる大東川東岸の丸亀街道(新町)の景観

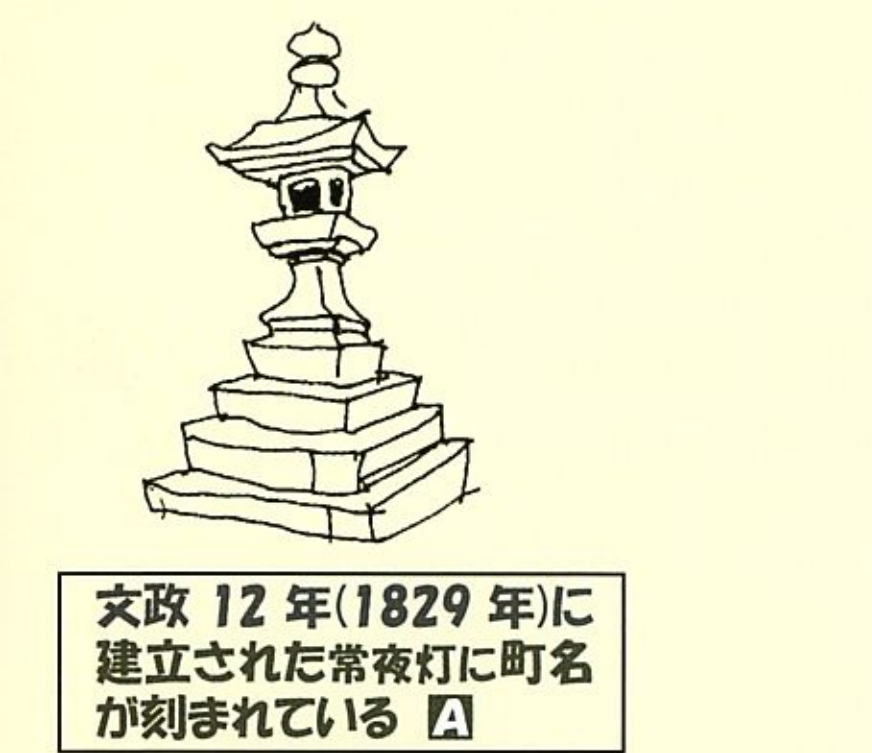


丸亀街道東端と大東川東岸の中間にある新町の路地

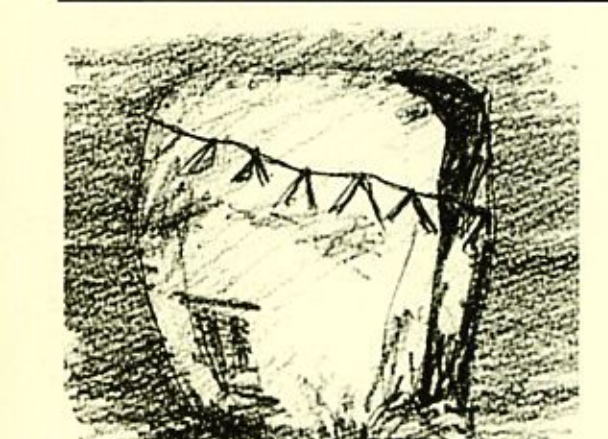


①邸：横町の街並みを形成する町家、2階の黒漆喰と白い虫籠窓が特徴
②邸：宇夫陸神社の鳥居を正面に見た丸亀街道の街並みを形成する町家
③邸：明治初期の小規模建築と推定される町家、腕の良い左官工事が特色
④邸：丸亀街道が「くの字」に折れ曲がる日隆寺の北側から見て、アイストツとなる町家
⑤邸：山下の間の広い大規模町家の典型例、住宅の前面に欄がある
⑥邸：こめっせ宇多津：昭和初期の旧農協倉庫を町民の交流や憩いの場に改修した建物
⑦邸：館三角邸：昭和初期の宇多津が栄えた時代の様相を伝える建物、洋館の尖塔型をした屋根が特色
⑧邸：角地に建つ入母屋の町家、商店として利用、明治後半の建物と推定
⑨邸：琴平街道を北に上った突き当たり位置するなまこ壁がアイストツになる町家
⑩邸：江戸末期の間の広い町家の代表例、主屋の上手・下手に板欄を設置

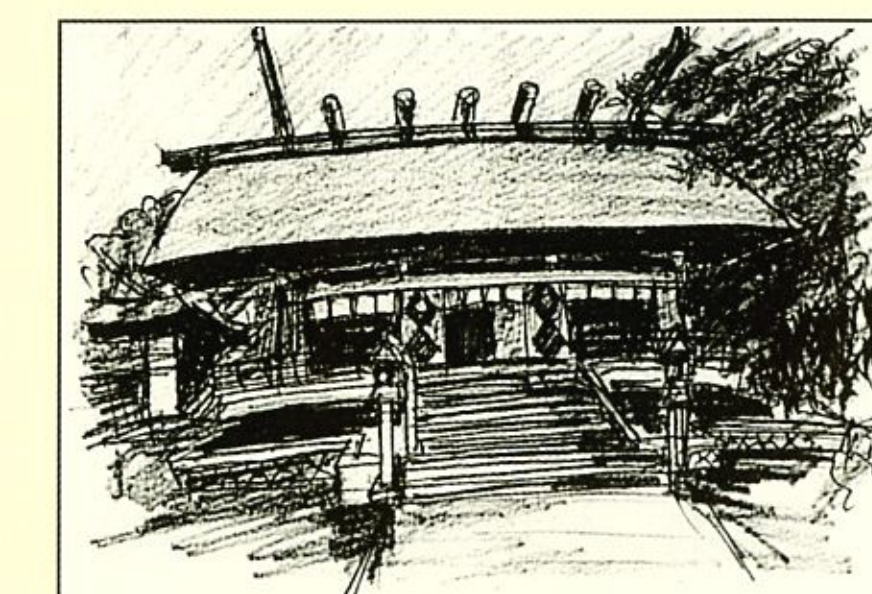
⑪ 聖通寺：天平年間に行基菩薩によって創建、讃岐三十三観音霊場第31番札所、木造千手観音立像(重要文化財)が祀られている



文政12年(1829年)に建立された常夜灯に町名が刻まれている ⑫

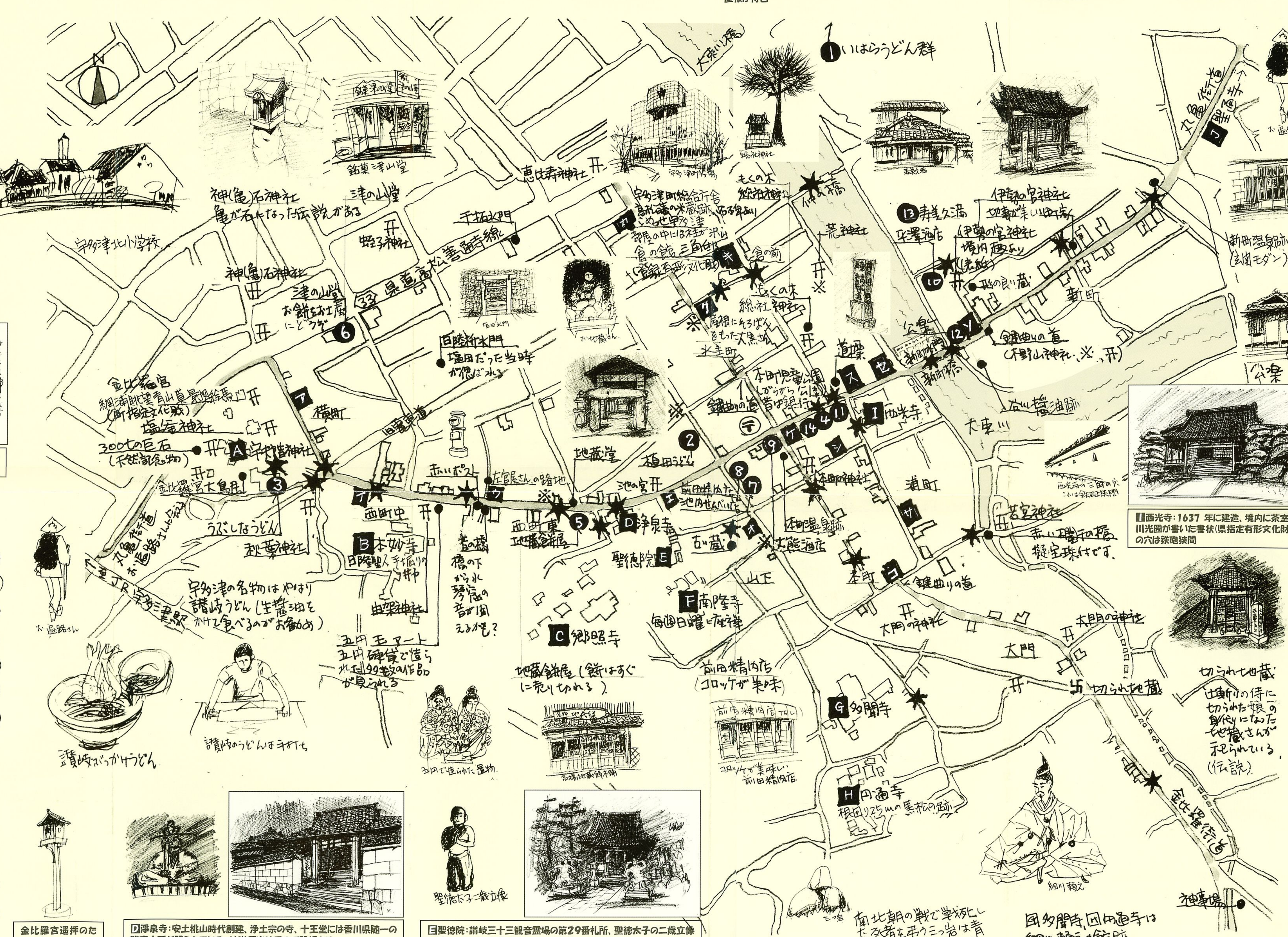


⑬宇夫陸神社の本殿裏にある巨石(約300t、町指定天然記念物) ⑭

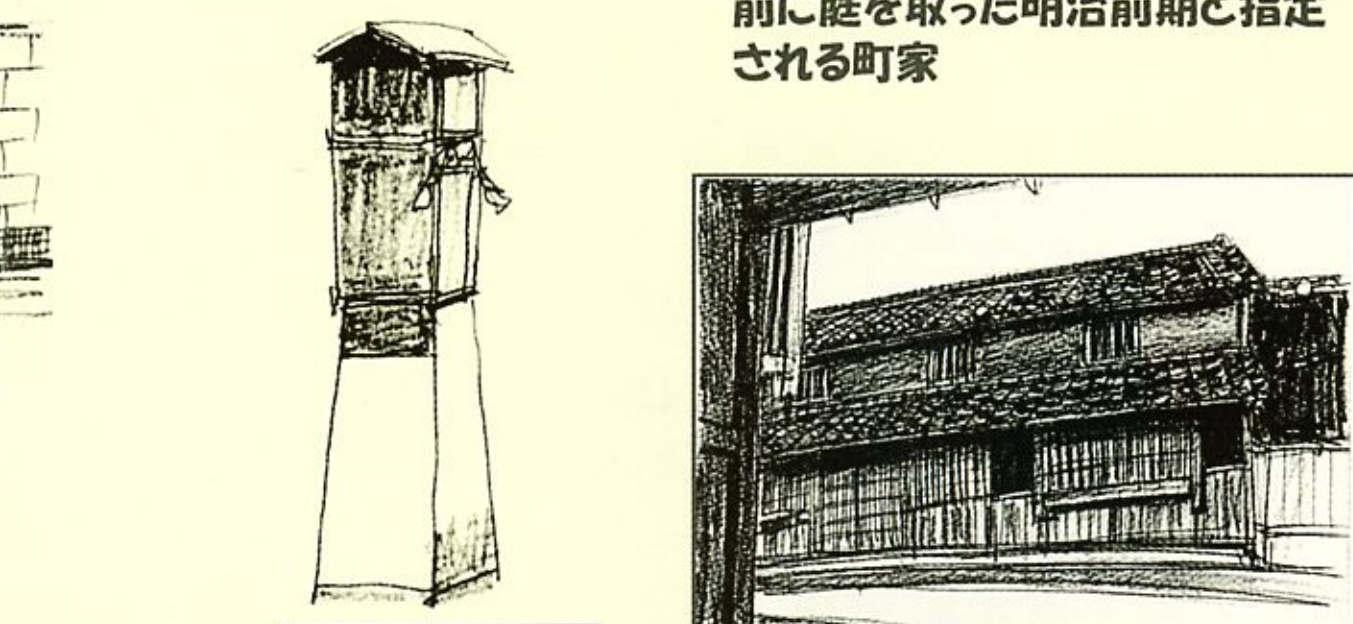


⑮宇夫陸神社：本殿は伊勢神宮の外宮多賀宮正殿を拝観した建物、神明造!

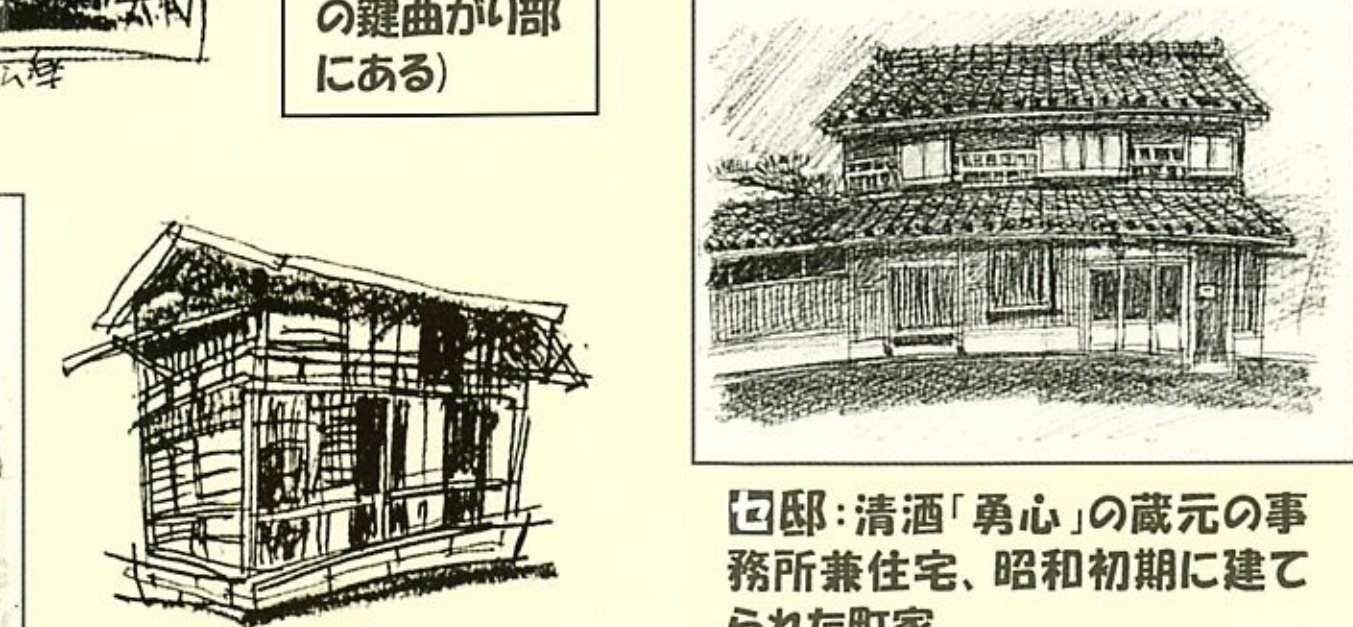
- 14寄りたい休憩所、お宿等
- ① いはらうどん群(讃岐うどん)
 - ② 穂田うどんラーメン(もろめ)
 - ③ うぶしうどん(讃岐うどん)
 - ④ 池田屋(蕎麦、押し麦)
 - ⑤ 高橋地蔵餅本舗(もち)
 - ⑥ 津の山堂(もち)
 - ⑦ シヤゼン(せんべい)
 - ⑧ 前田精肉店(ロケット)
 - ⑨ 大熊酒造(のみもの)
 - ⑩ 平澤酒造(のみもの)
 - ⑪ 磯野(たこ)
 - ⑫ 公衆(料理亭)
 - ⑬ 舞美久満(料理、宿)
 - ⑭ うたんじら(休憩所、宿)



⑯ 聖通寺：動かすことが出来る約10tの大岩(聖通寺山麓)



⑰邸：限られた間口ながら座敷前に庭を取った明治前期と指定される町家



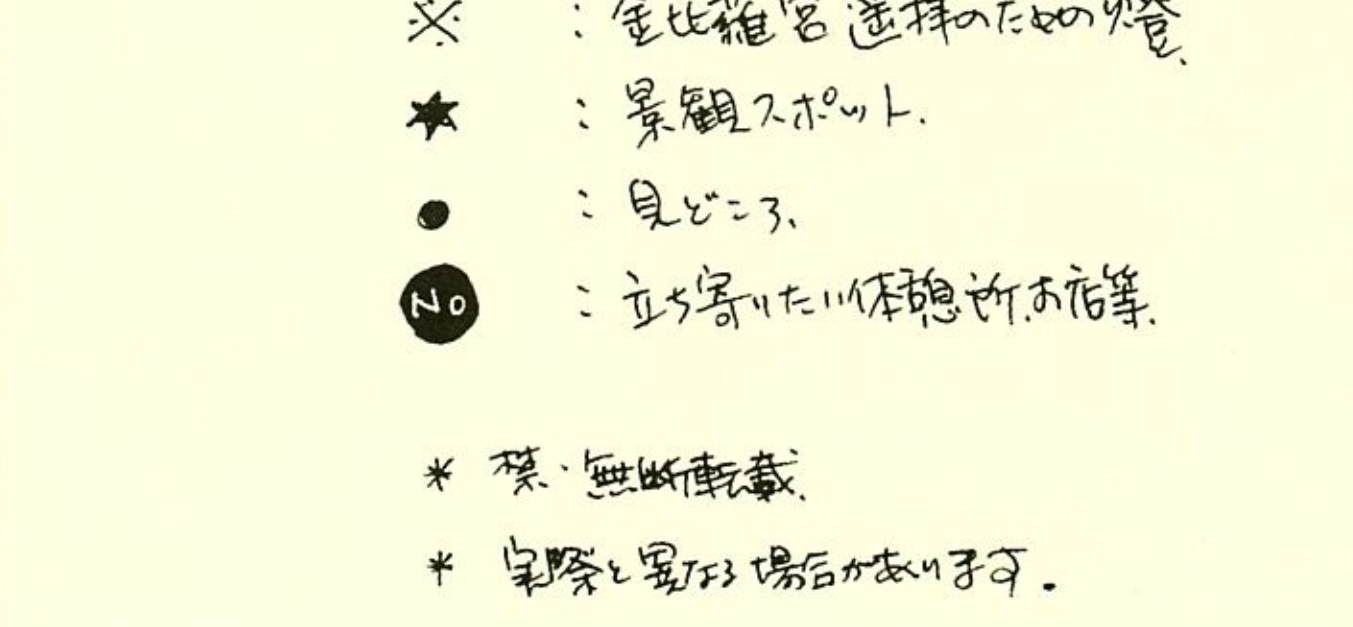
⑱邸：明治初期の中規模町家の姿を残している、西光寺と共に古街の景観形成に寄与



⑲邸：清酒「勇心」の蔵元の事務所兼住宅、昭和初期に建てられた町家



⑳邸：新町の間の広い大規模町家の典型例、1827年の建築、丸亀街道の鎌曲が4箇所位置する



㉑邸：室町時代創建、真言宗の寺、境内には細川頼之公の手植の楠樹、根回り25m以上の黒松の樹等がある

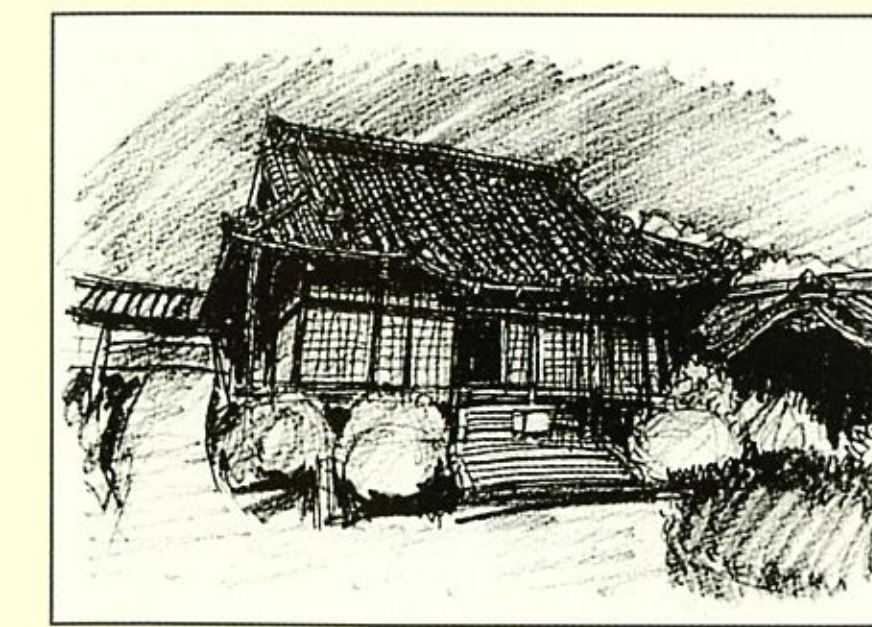
宇多津

古街 絵地図

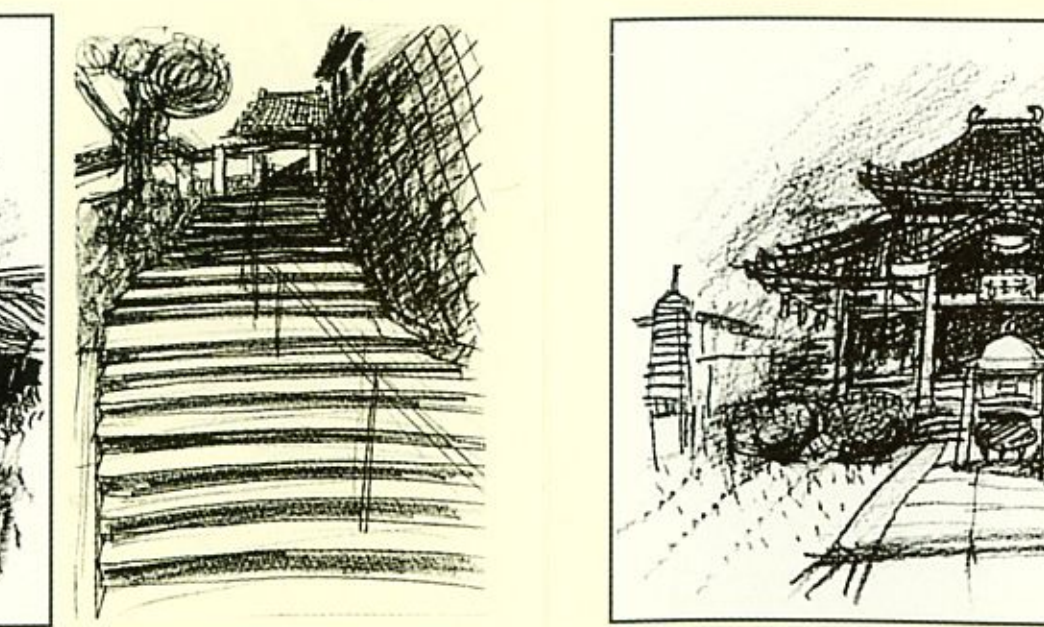
絵になる美しい街

- 凡例
- ：1社94年、伝統的町家
 - 井、田：小社
 - ※：金比羅宮巡拝のための燈
 - ★：景観スポット
 - ：見どころ
 - ：14寄りたい休憩所、お宿等

* 祭・無休期間
* 祭・営業の場合があります。



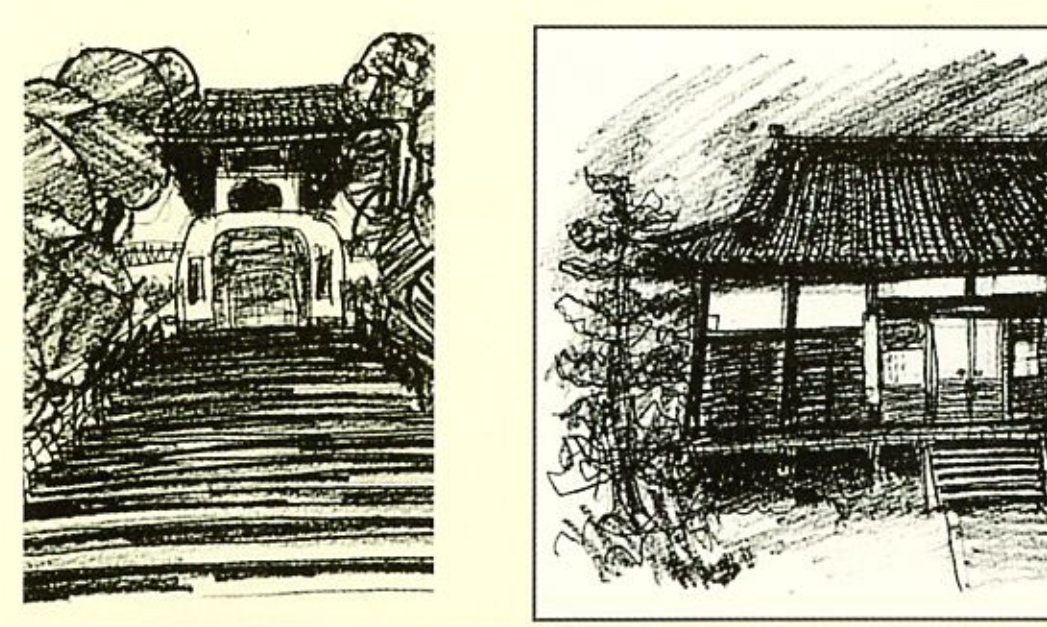
㉒日本妙寺：讃岐六番神の一つ、日蓮大聖人、日隆聖人の大銅像、野面積み石垣等、見所多数、本堂に至る階段はダイナミック



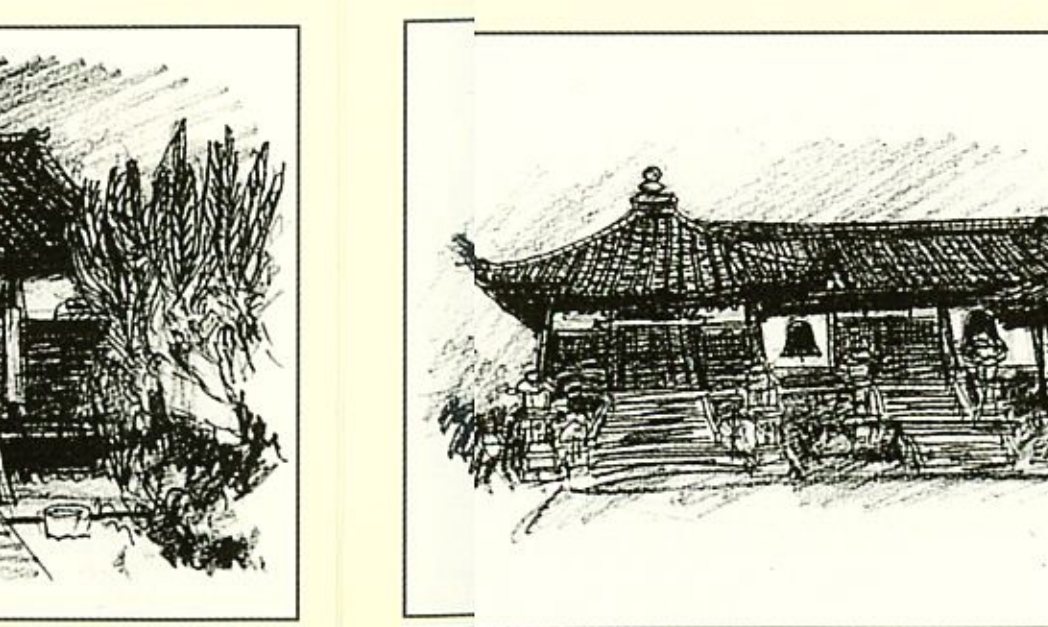
㉓郷照寺：県下唯一の時宗寺院、四国霊場八十八ヶ所第78番札所、回遊式庭園、木造阿彌陀如来像等数多くの文化財が保存されている



㉔南隆寺：室町時代創建、曹洞宗の寺、参拝道場として活用されている、鐘樓門に至るアクセスが良い



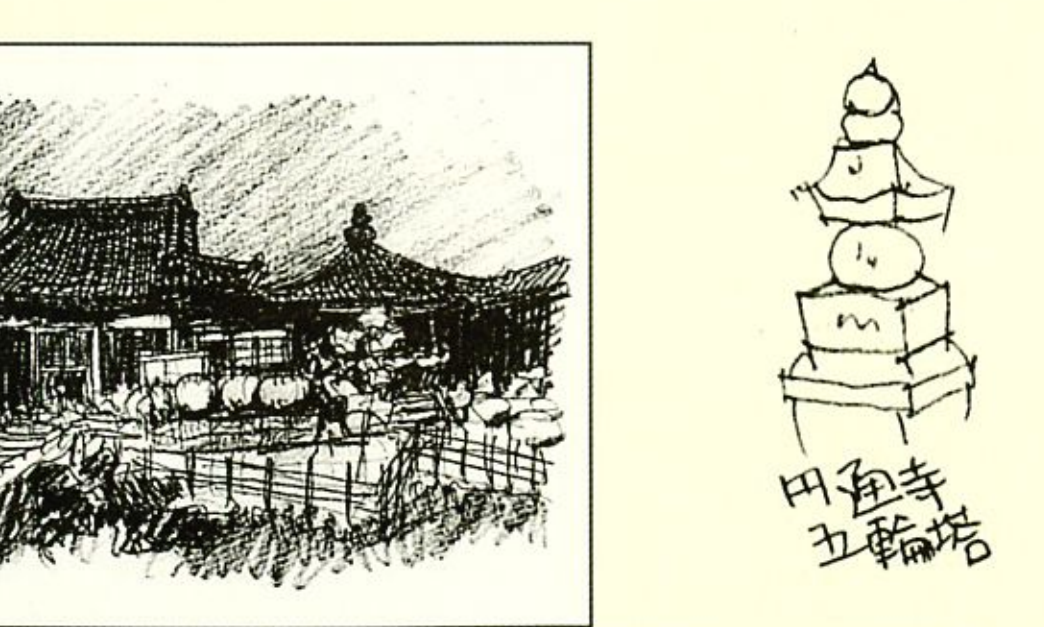
㉕多聞寺：室町時代創建、真言宗の寺、境内には細川頼之公の手植の楠樹、根回り25m以上の黒松の樹等がある



㉖邸：室町時代創建、真言宗の寺、境内には細川頼之公の手植の楠樹、根回り25m以上の黒松の樹等がある



㉗邸：室町時代創建、真言宗の寺、境内には細川頼之公の手植の楠樹、根回り25m以上の黒松の樹等がある



㉘邸：室町時代創建、真言宗の寺、境内には細川頼之公の手植の楠樹、根回り25m以上の黒松の樹等がある